

**鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程**  
**学生確保の見通し等を記載した書類 添付書類【目次】**

No	資料	頁
【資料 1】	文部科学省 中央教育審議会『『令和の日本型学校教育』を担う教師の在り方特別部会 中間まとめ 概要』	2
【資料 2】	文部科学省『『教師不足』に関する実態調査』（令和 4 年 1 月）抜粋	4
【資料 3】	文部科学省「令和 6 年度文部科学関係概算要求のポイント等」抜粋	6
【資料 4】	文部科学省「令和 5 年度（令和 4 年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント」「令和 5 年度（令和 4 年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施方法のポイント」抜粋	9
【資料 5】	神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課「かながわこどもみらいプラン（令和 2 年度～6 年度）」抜粋	15
【資料 6】	国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）〈都道府県別 15-64 歳人口と指数〉」	16
【資料 7】	東京都教育委員会ホームページ（幼稚園教諭経験者の小学校教諭免許状取得に係る受講費用等の補助制度の紹介ページ）抜粋	17
【資料 8】	（別紙 1）新設組織が置かれる都道府県への入学状況	18
【資料 9】	（別紙 2）既設学科等の入学定員・収容定員の充足状況（直近 5 年間）	19
【資料 10】	日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向（令和 5 年度）」抜粋	20
【資料 11】	（別紙 3）既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	23
【資料 12】	学生確保に関するアンケート調査に関する資料	24
【資料 13】	人材需要に関するアンケート調査に関する資料	51

経緯 中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（令和3年1月）：今後更に検討を要する事項  
「個別最適な学びと協働的な学びによる「令和の日本型学校教育」を実現するための、教職員の養成・採用・研修等の在り方」

令和3年3月「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」（諮問）

1. 令和3年答申で示された、「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団の姿

- ・変化を前向きに受け止め、**教職生涯を通じて学び続ける** ・子供一人一人の**学びを最大限に引き出す**役割を果たす ・子供の**主体的な学びを支援する伴走者**としての能力も備えている
- ・**多様な人材の教育界内外からの確保や、教師の資質・能力の向上により、質の高い教職員集団を実現する** ・**多様な外部人材や専門スタッフ等**がチームとして力を発揮する
- ・**教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができる**

2. 子供たちの多様化と社会の変化

- ・「日本型学校教育」は国際的に高く評価される一方、**教師の長時間勤務が課題**
- ・子供たちの多様化（**特別支援、外国人児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒**など）
- ・Society5.0時代の到来、**高校における共通必修科目「情報Ⅰ」の開始**
- ・**臨時的任用教員等が確保できない「教師不足」問題の発生**

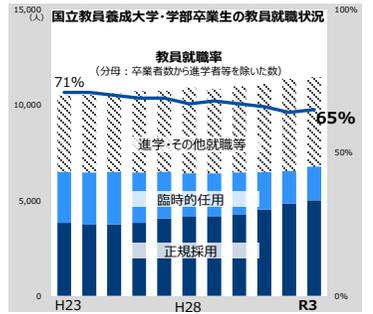
- これまでの取組
- ・新学習指導要領の実施
  - ・小学校35人学級、高学年教科担任制
  - ・GIGAスクール
  - ・学校の働き方改革 等

- 他の会議体からの提言・要請
- ・経済財政諮問会議
  - ・規制改革推進会議
  - ・内閣府CSTI
  - ・教育未来創造会議

3. 教師の養成、免許、採用、研修に関する制度及び実態

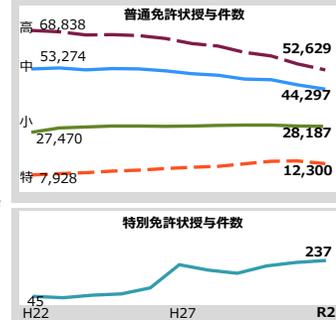
養成 教員養成学部・学科のほか中・高・特支等については他の学科でも教職課程が開設可能

- 教職課程では、**教科の専門的事項や指導法、教育の基礎的理解**などの単位の修得が必要
- **2〜4週間程度の教育実習が必須**。ただし、一部の単位は学校体験活動で代替可能
- 国立教員養成大学・学部数は45、定員は11,021人、**教員就職率は65.2%**
- 小学校の教職課程を有する**私立大学は10年で3割増**



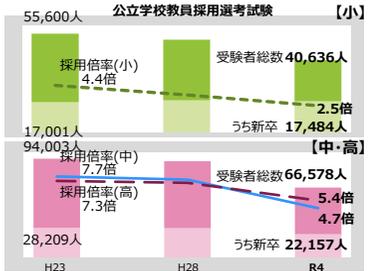
免許 原則、都道府県教育委員会が授与

- **普通免許状**（教職課程を経て授与）のほか、**特別免許状**（教科の専門的な知識経験・技能と社会的信望・熱意と識見を有する者に授与）、**臨時免許状**（普通免許状を有する者を採用できない場合に限定、有効期限3年）の3種類が存在。
- 普通免許状の授与件数は、**中高で減少、小学校で横ばい、特別支援学校で増加**
- 特別免許状の授与件数は増加。一方で絶対数は少ない。学校種では高校、教科では、英語・看護等に集中



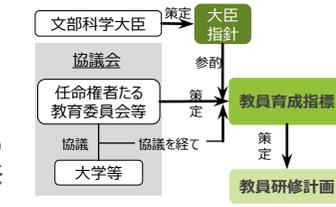
採用 公立の場合、任命権者たる教育委員会が採用（小中は都道府県・政令市）

- **採用倍率低下**（大量退職や特別支援学級の急増を反映した採用増と、既卒受験者層の減少）
- 年齢構成は地域・学校種で大きく異なる。**一部地域の小学校**では、大量退職・採用のピークが過ぎ、既に**若年層の占める割合が高い**
- **新卒受験者数は、小学校は微増、中学・高校は減少**
- **臨時的任用教員等が不足する「教師不足」が発生**
- **民間企業等経験者の割合は約4%**



研修 公立の場合、研修実施者たる教育委員会が実施（小中は都道府県・政令市・中核市）

- 任命権者が、国が定める指針を参酌しつつ**教員育成指標を策定**し、それに基づく**体系的な教員研修計画を策定**。研修実施者は、計画に基づき研修を実施（平成28年の教法特法改正により導入）
- 教員育成指標の策定や教員育成指標に基づく校長及び教員の資質の向上というテーマについての協議を行うための**協議会**を、**任命権者や関係大学等を構成員として組織**



4. 今後の改革の方向性

「新たな教師の学びの姿」の実現

- 子供たちの学び（授業観・学習観）とともに**教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）を実現**
- 養成段階を含めた教職生活を通じた学びにおける、「**理論と実践の往還**」の実現（理論知（学問知）と実践知などの「二項対立」の陥穽に陥らない）

多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成

- **教師一人一人の専門性の向上と、多様な専門性・背景を有する人材の取り込みにより、教職員集団の多様性を確保し、学校組織のレジリエンス（復元力、立ち直る力）の向上**
- 学校管理職のリーダーシップの下、**心理的安全性を確保し、教職員の多様性を配慮したマネジメントの実現**
- 「**学校の働き方改革**」の推進

教職志望者の多様化や、教師のライフサイクルの変化を踏まえた育成と、安定的な確保

- 多様な教職志望者へ対応するため**教職課程の柔軟性の向上**
- 産休・育休取得者の増加、定年延長など**教師のライフサイクルの変化を前向きに捉え、採用や配置等を工夫**

総論に示す3つの方向性（「新たな教師の学びの姿」の実現、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成、教職志望者の多様化等を踏まえた育成・安定的確保）を踏まえ、以下の改革を実施

## 1. 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師像と教師に求められる資質能力

### 教師に求められる資質能力の再整理

- 「大臣指針」において、教師に共通的に求められる資質能力の柱を、①教職に必要な素養 ②学習指導 ③生徒指導 ④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 ⑤ICTや情報・教育データの利活用の5項目に再整理
- 任命権者において、指針を参酌しながら、教員育成指標の変更など必要な見直しを実施
- 教職課程では、既に④に対応した科目は令和元年度、⑤に対応した科目は令和4年度から必須単位化）。今後、自己点検評価の中で、上記の資質能力を身に付けられるか確認

研修

養成

### 理論と実践の往還を重視した教職課程への転換

- 「教育実習」等の在り方の見直し（履修形式の柔軟化等）
- 「学校体験活動」の積極的な活用（学習指導員、放課後児童クラブやNPO等での課題を抱える子供たちへの支援等も含む）
- 「教員養成フラッグシップ大学」における先導的・革新的な教職科目の研究・開発等
- 特別支援教育の充実に資する「介護等の体験」の活用等（特別支援学校・学級、通級指導など）

養成

## 2. 多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成

### 教職課程における多様な専門性を有する教師の養成

- 強みや専門性（データ活用、STEAM教育、障害児発達支援、日本語指導、心理、福祉、社会教育、語学力、グローバル感覚など）を身に付ける活動との両立のため、四年制大学において最短2年間で必要資格が得られる教職課程の特例的な開設・履修モデルの設定
- 小学校の専科指導優先実施教科（外国語、理科、算数、体育）に相当する中学校教員養成課程を開設する学科等において、小学校教員養成課程の設置を可能とする
- 中学校二種免許状等における「教科に関する専門的事項」の必要科目の見直し

養成

### 多様な専門性や背景を持つ人材を教師として取り入れるための方策

- 特別免許状に関する運用の見直し（授与基準や手続の周知、特別免許状保有者が、他校種の特別免許状の授与を受ける際の基準等の明確化）
- 任命権者における特別免許状を活用した特別採用選考試験の実施促進（特別免許状等を活用した入職支援）
- 特別免許状による採用者を対象とした研修の実施・支援
- 教員資格認定試験の拡大等（高校「情報」の実施、中学校等免許取得者の小学校試験の一部免除の検討）

免許

採用

研修

免許

### 優れた人材を確保できる教員採用等の在り方の検討

- 教員採用選考試験の早期化・複線化を含めた多様な入職スケジュールに関し国・任命権者の連携により検討（7月に1次試験、8月に2次試験、9～10月に合格発表・採用内定が一般的）
- 特定の強みや専門性を有する者に対する特別採用選考試験等の実施

採用

研修

### 校長等の管理職の育成及び求められる資質能力の明確化・計画的な育成

- 「大臣指針」の改正により、校長の資質能力（マネジメント能力、アセスメント、ファシリテーション）を示すとともに、各任命権者が、教師とは別に、校長に関する独自の育成指標を策定することを明記。新任校長等を対象とした研修の充実など、校長自身の学びを支援

## 3. 教員免許の在り方

### 教員免許更新制の発展的解消及び教員研修の高度化

- 審議まとめ（令和3年11月）において、教員免許更新制の発展的解消を提言。令和4年5月に教育職員免許法が改正され、7月1日より実施。
- 研修履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みにより、教師の「個別最適な学び」、「協働的な学び」を充実させ、「新たな教師の学びの姿」を実現。
- 教師の資質向上に関する「大臣指針」を改正、「対話と奨励のガイドライン」を策定

免許

研修

### 義務教育9年間を見通した教員免許の在り方を踏まえた方策

- 小学校教諭と中学校教諭の両免併有の促進
  - 教職課程における義務教育特例の新設【制度改正済】
  - 専科指導優先実施教科の小学校教員養成課程の設置の拡大等（再掲）
  - 教員資格認定試験における中学校等免許保有者の小学校試験の一部免除等（再掲）
  - 他校種の免許状を取得する際に必要な最低勤務年数の算入対象の拡大【制度改正済】

免許

養成

## 4. 教員養成大学・学部、教職大学院の在り方

### 教員養成大学・学部、教職大学院の高度化・機能強化

- 学部と教職大学院との連携・接続の強化・実質化（教職大学院進学希望者対象コースの設定、先取り履修を踏まえた教職大学院の在学年短縮等）
- 教育委員会と大学の連携強化（教員育成協議会における協議の活性化、教委等との人事交流の推進、教委と連携・協働した研修プログラム等の展開等）
- 教師養成に係る理論と実践の往還を重視した人材育成の好循環の実現（教職大学院の学びを生かしたキャリアパスの確立、教員養成学部における実務家教員登用に係る具体的な基準設定・FDの充実等）
- 教員就職率の向上、組織体制の見直し（養成段階における教員就職率向上のための取組、教委と連携した地域課題解決に対応したカリキュラムの構築等、定員の見直し・大学間連携・統合に係る検討等）

養成

採用

研修

学生確保(資料)-3-

## 5. 教師を支える環境整備

### 学びの振り返りを支援する仕組みの構築

- 「研修履歴記録システム」及び「プラットフォーム(教委・大学・民間等が提供する研修コンテンツを一元的に収集・整理・提供するシステム)」の一体的構築
- 教育委員会・学校管理職は、研修履歴の記録・管理を自己目的化しない意識が必要
- 喫緊の教育課題に対応したオンライン研修コンテンツの充実

研修

### 多様な働き方等教師を支える環境整備

- 失効・休眠免許保持者の円滑な入職の促進(再授与手続き簡素化、ペーパーティーチャー等への研修)
- 働き方改革の一層の推進(教職員定数の改善、支援スタッフの充実、学校DXの推進、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進等)、勤務実態調査の結果を踏まえた教師の処遇の在り方の検討

## 2 (1)「教師不足」の状況一概要

- ✓ 学校に配当されている教員定数に対する「教師不足」の割合は高等学校が最も低く0.1%、他は小学校は0.26%、中学校は0.33%、特別支援学校は0.26%となっている<R3.5.1>。
- ✓ 始業日時点から5月1日時点の間においても、都道府県・指定都市等の人材確保の取組により不足数は小中合計で見ると0.07ポイント改善。

### (1)「教師不足」の状況（5月1日時点）

学校種	学校に配置されている教師の数 (A)	学校に配当されている定数 (B)	不足 (C)	不足率 (C/B)	全体の学校数 (D)	教師不足が生じている 学校数(E)	割合 (E/D)
小学校	379,598	380,198	979	0.26%	18,991	794	4.2%
中学校	218,504	219,123	722	0.33%	9,324	556	6.0%
小中学校合計	598,102	599,321	1,701	0.28%	28,315	1,350	4.8%
高等学校	159,688	159,837	159	0.10%	3,502	121	3.5%
特別支援学校	78,474	78,632	205	0.26%	1,086	120	11.0%
合計	836,264	837,790	2,065	0.25%	32,903	1,591	4.8%

### (参考)「教師不足」の状況（始業日時点）

学校種	学校に配置されている教師の数 (A)	学校に配当されている定数 (B)	不足 (C)	不足率 (C/B)	全体の学校数 (D)	教師不足が生じている 学校数(E)	割合 (E/D)
小学校	378,481	379,345	1,218	0.32%	18,991	937	4.9%
中学校	217,856	218,641	868	0.40%	9,324	649	7.0%
小中学校合計	596,337	597,986	2,086	0.35%	28,315	1,586	5.6%
高等学校	159,368	159,576	217	0.14%	3,502	169	4.8%
特別支援学校	78,309	78,517	255	0.32%	1,086	142	13.1%
合計	834,014	836,079	2,558	0.31%	32,903	1,897	5.8%

(注1) 「学校に配置されている教師の数」は、正規教員・臨時的任用教員・非常勤講師・再任用教員の人数（養護教諭・栄養教諭等を除く）。なお、「非常勤講師」、「再任用教員（短時間）」は、フルタイム勤務に対する勤務時間数に応じた人数（換算数）として計算している。

(注2) 「学校に配当されている定数」は、義務標準法等に基づき算定される教職員定数ではなく、各都道府県・指定都市等の教育委員会において学校に配置することとしている教師の数。なお、都道府県・指定都市等の教育委員会独自で置く定数を含むが、域内の市（指定都市を除く。）町村教育委員会等独自で置く定数は含まない。

(注3) 「非常勤講師」、「再任用教員（短時間）」は、それぞれ始業日、5月1日時点に在籍する者を対象とする。

(注4) 本校・分校それぞれ別の学校として計上し、また、児童生徒が在籍していない学校は除く。

(注5) 一部の自治体では当初配置を予定していた教員定数を上回って教師を配置しており、この場合は不足数を「0」として計算。そのため、上記において、(B-A)と「不足(C)」が一致しない。

## 2 (1)「教師不足」の状況一州市別の状況(小学校)

- ✓ 5月1日時点での各教育委員会における「教師不足」の状況。
- ✓ 小学校の「教師不足」人数の合計は979人で0.26%。学校数でみれば794校。

(注1)「義務標準法に基づく充足率」は、義務標準法(公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律)に基づき算定される小中学校の定数に対する、校長・教諭等の充足率であり、全国平均は101.8%。

(注2)「不足学校数」は1名以上の不足が発生している学校数を計上している。

区分	不足人数	不足学校数	不足率	(参考) 義務標準法に基 づく充足率	区分	不足人数	不足学校数	不足率	(参考) 義務標準法に基 づく充足率	区分	不足人数	不足学校数	不足率	(参考) 義務標準法に基 づく充足率
北海道	18	13	0.14%	101.9%	三重県	6	5	0.10%	104.3%	沖縄県	6	6	0.10%	99.6%
青森県	13	11	0.32%	102.2%	滋賀県	5	5	0.10%	104.7%	札幌市	24	22	0.52%	101.4%
岩手県	1	1	0.02%	99.7%	京都府	14	12	0.36%	102.7%	仙台市	5	5	0.17%	105.2%
宮城県	19	14	0.45%	99.8%	大阪府	60	53	0.44%	99.9%	さいたま市	0	0	0.00%	101.1%
秋田県	2	2	0.07%	102.6%	兵庫県	22	13	0.18%	101.9%	千葉市	0	0	0.00%	101.0%
山形県	0	0	0.00%	102.6%	奈良県	8	3	0.18%	101.1%	横浜市	12	12	0.13%	103.2%
福島県	52	50	0.85%	101.4%	和歌山県	0	0	0.00%	101.4%	川崎市	4	4	0.11%	104.0%
茨城県	58	57	0.64%	101.2%	鳥取県	19	11	0.81%	109.5%	相模原市	10	10	0.55%	99.1%
栃木県	22	20	0.35%	101.4%	島根県	42	13	1.46%	103.3%	新潟市	1	1	0.05%	100.0%
群馬県	0	0	0.00%	101.3%	岡山県	1	1	0.02%	102.2%	静岡市	4	4	0.24%	100.7%
埼玉県	67	57	0.43%	100.2%	広島県	4	0	0.08%	100.0%	浜松市	1	1	0.04%	99.9%
千葉県	91	84	0.64%	100.0%	山口県	0	0	0.00%	99.7%	名古屋市	0	0	0.00%	103.9%
東京都	0	0	0.00%	108.2%	徳島県	2	2	0.08%	99.5%	京都市	3	3	0.09%	104.9%
神奈川県	45	14	0.52%	104.1%	香川県	8	6	0.26%	101.1%	大阪市	0	0	0.00%	102.9%
新潟県	0	0	0.00%	100.3%	愛媛県	15	15	0.34%	100.7%	堺市	9	3	0.38%	100.4%
富山県	10	10	0.31%	100.2%	高知県	3	3	0.12%	100.0%	神戸市	2	2	0.05%	104.8%
石川県	1	1	0.03%	100.3%	福岡県	69	61	0.70%	100.0%	岡山市	1	0	0.05%	100.8%
福井県	7	7	0.26%	102.8%	佐賀県	8	8	0.25%	101.4%	広島市	3	3	0.09%	103.7%
山梨県	1	1	0.03%	99.9%	長崎県	41	41	0.78%	98.3%	北九州市	3	3	0.11%	101.8%
長野県	2	2	0.03%	100.0%	熊本県	36	35	0.88%	99.4%	福岡市	0	0	0.00%	101.4%
岐阜県	9	9	0.14%	99.1%	大分県	15	15	0.39%	99.6%	熊本市	2	2	0.09%	100.1%
静岡県	10	10	0.16%	100.5%	宮崎県	4	2	0.10%	100.5%	豊能地区	3	3	0.13%	-
愛知県	57	26	0.35%	101.7%	鹿児島県	19	17	0.28%	99.8%	合計	979	794	0.26%	101.8%

# 令和6年度 文部科学省概算要求のポイント

文教関係予算のポイント 4兆3,759億円+事項要求(4兆146億円)

注) ( )内は令和5年度予算額。  
★が付く項目は、事項要求も行う。  
各項目の右側の丸数字は当該項目の参考資料のページ数。



## 質の高い公教育の再生

教師等の働き方改革の更なる加速化、処遇改善、指導・運営体制の充実、育成支援の一体的な推進

- 小学校における高学年の教科担任制の強化や35人学級 1兆5,302億円 (1兆5,216億円)の計画的な整備、教師の処遇改善⑥
  - 学校における働き方改革の推進のための支援スタッフ等の充実⑦⑧ 190億円 (91億円)
  - 教師人材の確保強化⑨⑩ 22億円 (新規)
- ※教師人材確保方策として、奨学金の返還支援も検討

## GIGAスクール構想の着実な推進と学校DXの加速化

- 1人1台端末の着実な更新⑪ 148億円 (新規)
- 運営支援センター機能強化、自治体への伴走支援の強化等⑫⑬⑭⑮ 59億円 (14億円)
- 生成AIの活用を含む次世代の校務デジタル化の推進⑯ 5億円 (0.8億円)
- 小中学校等における英語等のデジタル教科書の導入⑰ 18億円 (18億円)
- 教育DXを支える基盤的ツールの整備・活用、教育データの分析の推進⑱⑲ 17億円 (7億円)

## 幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上

- 「幼保小の架け橋プログラム」の実施、質を支える体制整備の支援等⑳ 60億円★ (23億円)

## 高等学校改革の推進

- 探究・STEAM教育の推進、職業教育の充実、柔軟で質の高い学びの推進㉑ 12億円 (8億円)

## 部活動の地域連携や地域クラブ活動移行

- 地域クラブ活動への移行に向けた実証、部活動指導員の配置支援等㉒ 49億円 (28億円)

## 現代的健康課題に対応するための健康教育の推進

- 養護教諭の業務支援等による学校保健の推進、学校給食・食育の充実等㉓ 9億円 (7億円)

## 道徳教育の充実

- よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進等㉔ 43億円 (42億円)



## 新しい時代の学びの実現に向けた学校施設の整備

教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備、キャンパスの共創拠点化、防災機能強化、脱炭素化など学校施設等の整備の推進

- 公立学校施設の整備㉕ 2,097億円★ (687億円)
- 国立大学・高専等施設の整備㉖ 950億円★ (363億円)
- 私立学校施設等の整備㉗ 362億円★ (90億円)



## 高等教育機関の多様なミッションの実現

基盤的経費の充実、改革インセンティブとなるメリハリある重点配分の徹底、高専の高度化・国際化の推進

- 国立大学改革の推進㉘ 1兆1,159億円 (1兆834億円)
- 高等専門学校の機能の高度化・国際化の推進㉙ 729億円★ (628億円)
- 私立大学等の改革の推進等㉚ 4,127億円 (3,996億円)

## 日本人学生の留学派遣、外国人留学生の受入れ・定着、教育の国際化の推進

- 日本人の留学促進、G7・ASEAN・インド等の外国人留学生の受入れや国際頭脳循環の促進、大学の国際化、初等中等教育段階の英語教育の充実等㉛ 825億円 (695億円)

## 高度専門人材の育成等の推進

- 数理・データサイエンス・AI人材育成の推進㉜ 29億円 (23億円)
- 高度医療人材の養成・大学病院改革の推進㉝㉞ 133億円 (10億円)

## 背景・課題

- 各学校の実際の教員配置数が、各自治体が設定している学校に配置する予定の教員数（配当数）を満たしていない「教師不足」については、令和3年度始業日時点で2,558人（5月1日時点：2,065人）など大変憂慮すべき状況。  
⇒現下の教師不足の解消のためには、採用選考受験者や管理職等の伝手に止まらない、新たな領域へ踏み出して教師のなり手を開拓することが必要
- また、昨年12月に出された中央教育審議会答申でも、学校教育が抱える様々な課題に対応し、質の高い教育を実現するためには、教職員集団の多様性を高めることの重要性に指摘有り。  
⇒民間企業や大学等の団体から学校現場に短期間の入職ルートを創出し、学校現場の多様性を確保。

### 【教師不足の状況】

- ・令和3年度始業日時点 2,558人（5月1日時点 2,065人）
- ・令和4年度当初の各都道府県・指定都市教育委員会の状況：  
令和3年度に比べ、悪化40、同程度22、改善6
- ・令和5年度当初の各都道府県・指定都市教育委員会の状況：  
令和4年度に比べ、悪化29、同程度28、改善11  
（「教師不足」に関する実態調査（令和3年度）、文部科学省調べ）

### 【民間企業等出身者の割合】

- ・令和4年度教員採用選考試験における民間企業等勤務経験を有する者の採用者に占める割合3.6%。  
（令和4年度 教員採用選考試験の実施状況調査）

## 事業内容

- 教師のなり手発掘のため、大学、PTA、民間企業等と連携・協働し、教師の仕事の価値ややりがいについて、地域社会全体に魅力を発信する取組及び、教員免許保有者を始めとした新たな外部人材の学校現場への入職支援の実施にあたり必要となる事業実施費用、システム構築費等を支援。
- 本事業を受ける教育委員会、外郭団体は、当地の教員養成を担う大学、PTA、民間企業等とともに、教職志望者を発掘、リスキングのための研修等を担う。  
また、学校現場への入職を希望する者に対し、例えば、以下のパターンでの入職を促す。

パターン(1)：教員免許保有者の場合、入職のための事前研修を実施し、学校とマッチングし入職。

パターン(2)：教員免許保有者で教職の経験がない場合、入職のための事前研修後、まず、非常勤のスタッフ等として学習指導に携わり、その後、適性を判断したうえで、臨時講師等として入職。

パターン(3)：免許を保有していない者の場合、入職のための事前研修後、まず、非常勤のスタッフ等として学習指導に携わり、適性を判断した上で、臨時免許状や特別免許状を活用し入職。

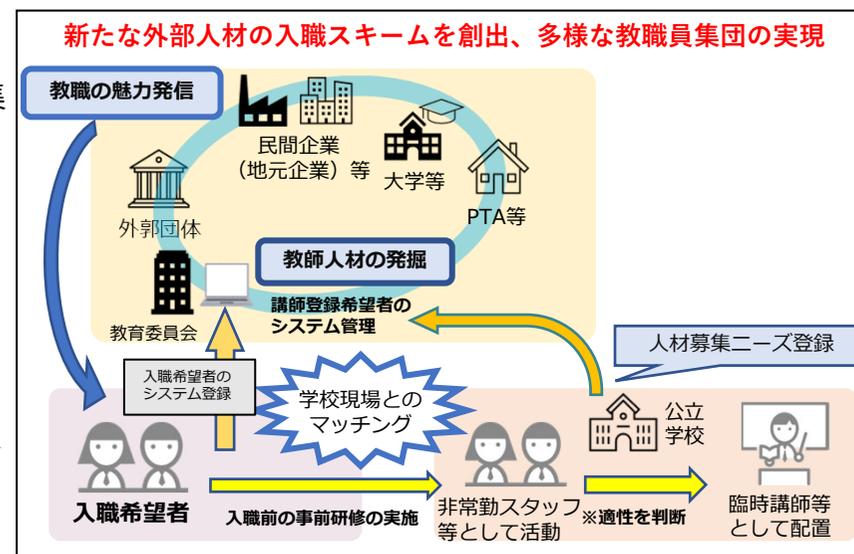
- 本事業を受ける教育委員会・外郭団体は以下の活動・業務を実施
  - 民間企業や大学、PTA等と連携・協働し、教職の魅力について広報・啓発
  - 広報活動等を通じ、元教師や企業等の退職者をはじめ、広く臨時講師等のなり手を募集（アスリートやアーティスト等の多様な専門性を持つ人材を含む）
  - 民間企業等から期限付きでの学校現場派遣の可能性の把握・働きかけ
  - 学校現場への入職にあたり基礎的知識を身に付けるための研修コーディネート
  - 臨時講師・非常勤スタッフ等募集の学校側ニーズを集約および学校現場とのマッチング

- 件数・単価：【補助事業】 24箇所 × 2,146万円（上限） = 5.2億円

※システム構築費1,500万円、広報発信・研修実施等事業費用646万円（それぞれ1/2まで補助、上限）

- 支援対象：教師の任命権を持つ都道府県・指定都市教育委員会、人事協議会および公益財団法人などの外郭団体

### 事業スキームのイメージ（一例）



# 地域教員希望枠を活用した 教員養成大学・学部の機能強化

令和6年度要求・要望額

17億円  
(新規)



文部科学省

## 背景・課題

- 子供たちへの質の高い教育を担う教師には、志ある優れた人材を得ることが必要。
- 近年、公立学校の教員採用倍率は低下傾向。
- 大学の教員養成段階から地域の教育委員会と連携・協働し、地域や現場ニーズに対応した質の高い教師を、継続的・安定的に養成し、確保することが重要。

## 事業内容

- 全国的な教育水準の維持・向上に資する教師養成をミッションとする教員養成学部・大学と教育委員会が連携・協働した教員養成の取組強化に係る経費を一定期間支援。
- 大学入学者選抜における【地域教員希望枠】の導入や地域課題に対応したコース・カリキュラム構築、高校生に対する特別プログラム構築・拡充し、大学における地域貢献機能を充実。
- ➔ 大学入学前から教員採用に至るまでの一貫した取組を促進
- ➔ 地域課題に対応した教員養成プログラムの構築により、単なる大学の機能強化にとどまらず、「令和の日本型学校教育」の牽引役として、成果を社会全体還元して社会的インパクトを創出するとともに、地域の公教育の質を確保

<地域課題に対応したコース・カリキュラム構築の例>

- ① 離島・へき地、特別支援教育、不登校対応、日本語教育等、特色ある実習校における早期からの学校体験活動の充実等、地域課題に対応した教員養成カリキュラムの構築
- ② 特定分野に強みや専門性を有する教員養成プログラムの構築（教育DX、教育データの利活用、心理・福祉、社会教育等）
- ③ 教員養成段階における留学の促進や海外大学と連携した教育課程の構築
- ④ 新しい学校づくりの有力な一員となり得る高度人材養成のための5年一貫プログラムの開発等、学部・教職大学院の連携・接続の強化
- ⑤ 採用者数や免許状保持者が少ない免許種等に関する、広域的な養成機能・体制構築 等

○ 件数・単価：【単独事業】 25箇所 × 4,000万円（上限） = 10.0億円

【複数大学連携事業】 10箇所 × 7,000万円（上限） = 7.0億円

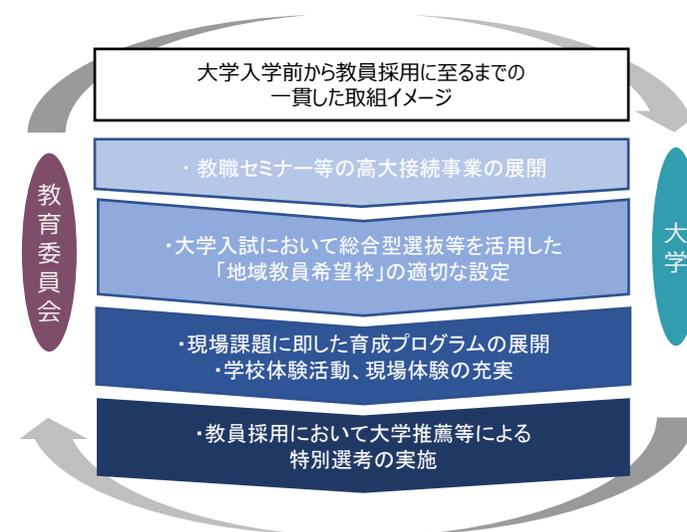
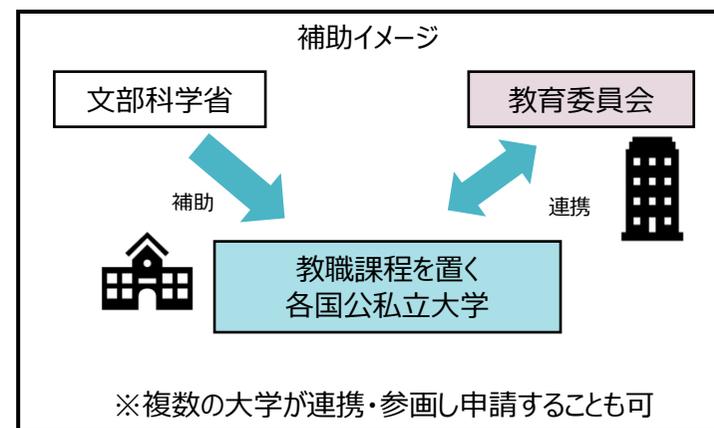
○ 補助期間：令和6年～令和10年（最長5年）、事業3年目に中間評価を実施

○ 支援対象：教職課程を置く各国公私立大学

### 【申請要件等（予定）】

- 申請に当たっては大学単独ではなく教育委員会と協議体を形成する等、相互に連携・協働する体制を構築するとともに、学校現場での実務経験を有し、教育委員会と大学を結ぶコーディネータが中核となり、地域課題に対応したコース・カリキュラムを構築すること。
- 附属学校や教職大学院等も活用しながら、実務家教員を輩出するサイクル等のキャリアパスを構築し、教育委員会との連携協定を事業3年目の中間評価時まで締結すること。
- 「地域教員希望枠」の取組を踏まえた学部全体への波及や改革について計画すること。

- 新規学卒の受験者数（小中高）  
H25：48,110人 ⇒ R4：39,651人
- 教員採用倍率  
・小学校 12.5倍（H12）→2.5倍（R4）  
・中学校 17.9倍（H12）→4.7倍（R4）  
出典：令和4年度（令和3年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況
- 国立教員養成大学・学部の教員就職率  
R4.3卒業生：66.9%（進学者・保育士就職者除く）  
出典：文部科学省「国立の教員養成大学・学部及び国私立の教職大学院の卒業生及び修了者の就職状況等」



(担当：総合教育政策局教育人材政策課)

# 令和5年度(令和4年度実施)公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント

## 結果概要

文部科学省では、都道府県・指定都市教育委員会等(計68)が実施した公立学校教員採用選考試験の実施状況について、毎年度調査を実施している。このたび、令和4年度に実施された令和5年度採用選考の実施状況を取りまとめた。

○全体の競争率(採用倍率)は、3.4倍(過去最低)で、前年度の3.7倍から減少

- ・採用者総数は、35,981人で、前年度に比較して1,666人増加
- ・受験者総数は、121,132人で、前年度に比較して5,258人減少
- ・全体の競争率は15自治体で増加、45自治体で減少

(注1)「全体」は小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の合計

(注2)競争率(採用倍率)は、受験者数÷採用者数

○試験区分別の競争率(採用倍率)、採用者数、受験者数

### 【小学校】

競争率(採用倍率)は、2.3倍(過去最低)で、前年度の2.5倍から減少

- ・採用者数は、17,034人で、前年度に比較して867人増加
- ・受験者数は、38,952人で、前年度に比較して1,683人減少(うち 新卒582人増加、既卒2,265人減少)

### 【中学校】

競争率(採用倍率)は、4.3倍で、前年度の4.7倍から減少

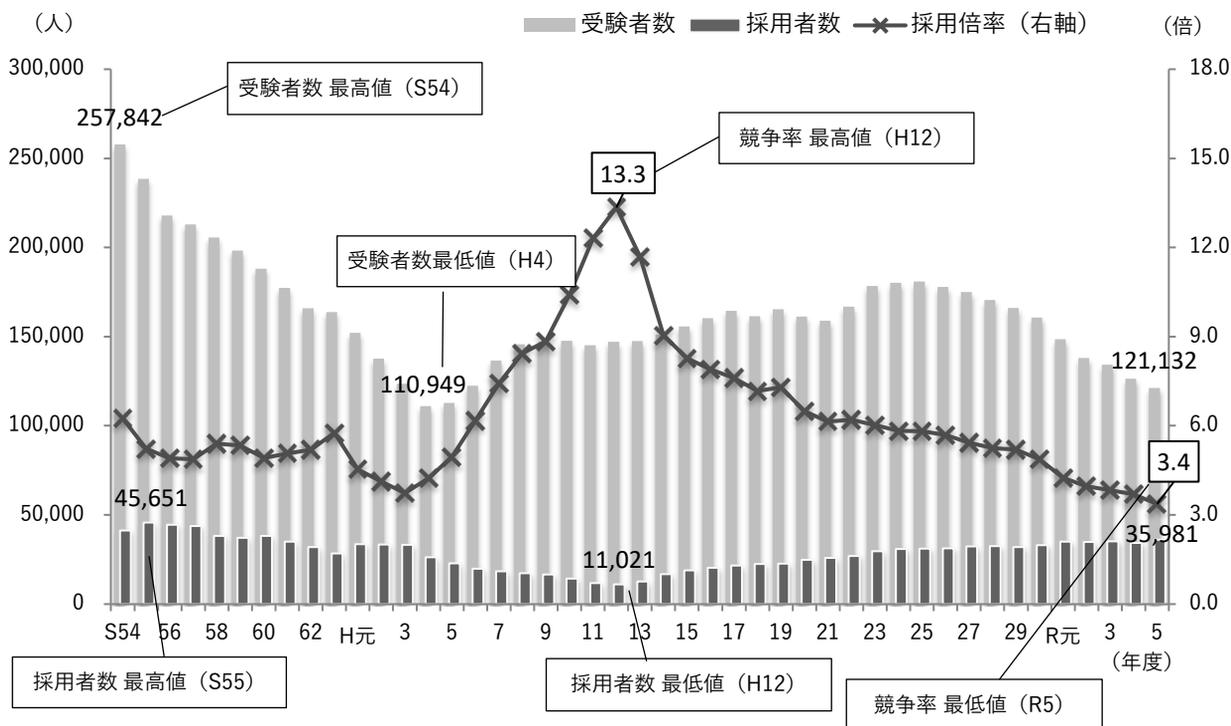
- ・採用者数は、9,589人で、前年度に比較して437人増加
- ・受験者数は、41,048人で、前年度に比較して1,539人減少(うち 新卒401人増加、既卒1,940人減少)

### 【高等学校】

競争率(採用倍率)は、4.9倍で、前年度の5.3倍から減少

- ・採用者数は、4,599人で、前年度に比較して105人増加
- ・受験者数は、22,463人で、前年度に比較して1,528人減少(うち 新卒312人減少、既卒1,216人減少)

図1 総計 受験者数・採用者数・競争率(採用倍率)の推移



(注)「総計」は小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の合計

# 調査結果を踏まえた文部科学省の分析と今後の対応

## 1. 今回の調査結果に係る分析

(全体としての傾向)

- ✓ 採用者数は平成12年度以降増加し、ここ数年は横ばいである(H12: 11,021人⇒R5: 35,981人)。平成12年度以降の採用倍率低下については、大量退職等に伴う採用者数の増加と既卒の受験者数の減少によるところが大きい。

(小学校における傾向)

- ✓ 小学校において採用倍率が過去最高の12.5倍であった平成12年度においては採用者数が3,683人であるのに対し、令和5年度は採用者数が平成12年度の4倍以上の17,034人であり、これは昭和58年度以降、最多となっている。(図2)
- ✓ 受験者数の内訳を分析してみると、新規学卒者は増加(582人)となった一方、既卒者は引き続き大きく減少(2,265人)している。総数としての受験者数は減少(1,683人)した。(図5)
- ✓ 採用者数の内訳については、受験者数の動向と並行して、新規学卒者の増加が大きく、既卒者も増加したものの、採用者に占める割合では既卒者の比率は引き続き減少している。また、既卒者のうち民間企業等勤務経験者は増加した。
- ✓ このような小学校における受験者数の減少傾向は、臨時的任用教員や非常勤講師などを続けながら教員採用選考試験に再チャレンジしてきた層が正規採用されることにより、既卒の受験者が減ってきていることなどが理由であると考えられる。
- ✓ また、退職者数は平成28年度末をピークに減少していたが、令和3年度末、令和4年度末は2年続けて増加し、令和4年度末の退職者数は令和元年度末と同水準となると同時に、採用者数は昭和58年度以降最多となった。このような大量退職・大量採用の状況により、既卒者の受験者数が減少し続けていることから採用倍率は引き続き低下している。

(中学校・高等学校における傾向)

- ✓ 中学校や高等学校については、全体として4.3倍、4.9倍の採用倍率を保っているものの、小学校と同様に既卒者の受験者数の減少が大きい(中学校1,940人減少、高等学校1,216人減少)。中学校の新卒受験者は前年に比べ401人増加したものの、全体の受験者数としては減少している。(図6)

## 2. 上記分析を踏まえた今後の対応

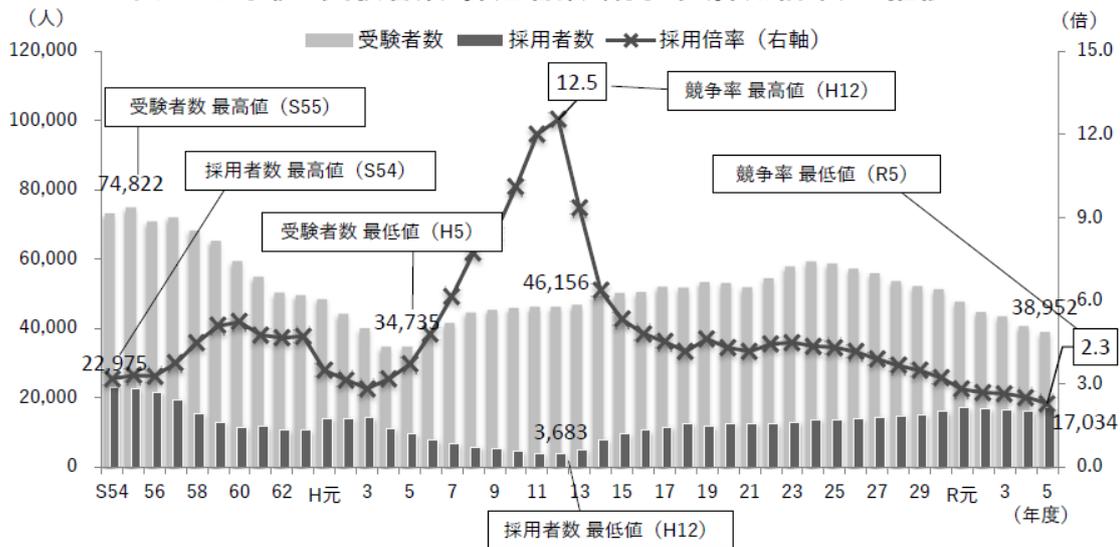
- ✓ 意欲ある教師志願者を確保するため、本年5月に文部科学省より各教育委員会に対し、教員採用選考試験の早期化・複数回実施等の改善の方向性について提示し、引き続き各教育委員会における教員採用選考試験の改善を促進する。
- ✓ 現在、中央教育審議会「質の高い教師の確保特別部会」において、教師を取り巻く環境整備に関する総合的な方策について議論が行われているところ、中教審における議論も踏まえ、学校における働き方改革の更なる加速化や処遇改善、学校の指導・運営体制の充実等も含めた教職の魅力向上、教職志願者の増加に向けた施策に取り組んでいく。

【資料 4】文部科学省「令和 5 年度（令和 4 年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント」より抜粋

## 1. 小学校 受験者数・採用者数・競争率(採用倍率)

- 競争率(採用倍率)は、2.3倍(過去最低)で、前年度の2.5倍から減少
- 小学校において採用倍率が過去最高の12.5倍であった平成12年度においては採用者数が3,683人であるのに対し、令和5年度は採用者数が平成12年度の4倍以上の17,034人であり、これは昭和58年度以降、最多となっている。
- 採用者数が中長期的に安定している自治体では高い採用倍率を維持している一方、採用者数を大幅に増やしてきた自治体で採用倍率が低下している状況にある。

図2 小学校 受験者数・採用者数・競争率(採用倍率)の推移



#### 4. 各県市における競争率(採用倍率)

表1 各県市別の競争率(採用倍率)

区分	小学校	中学校	計(※)	区分	小学校	中学校	計(※)	区分	小学校	中学校	計(※)
北海道	2.4	4.1	3.2(3.6)	三重県	2.9	5.5	4.5(5.0)	沖縄県	3.3	6.9	5.9(7.9)
青森県	1.5	4.2	4.0(4.9)	滋賀県	2.4	4.1	3.4(3.9)	札幌市	(2.4)	(4.1)	(3.2)[(3.6)]
岩手県	2.4	3.5	3.5(4.0)	京都府	2.9	4.7	3.9(4.2)	仙台市	2.4	-	3.9(3.0)
宮城県	1.7	-	2.9(3.3)	大阪府	-	-	4.7(4.3)	さいたま市	2.3	-	3.1(3.2)
秋田県	1.3	3.5	3.0(2.7)	兵庫県	4.4	3.8	4.5(4.7)	千葉市	(1.8)	-	(3.0)[(3.0)]
山形県	1.5	3.3	2.5(2.6)	奈良県	3.9	4.9	4.7(5.4)	横浜市	2.6	4.5	3.3(3.6)
福島県	1.5	4.7	3.5(3.7)	和歌山県	3.1	5.5	4.2(3.7)	川崎市	2.2	4.0	2.8(3.2)
茨城県	2.6	5.1	4.3(3.3)	鳥取県	4.6	6.0	5.4(4.4)	相模原市	1.7	5.2	2.9(3.3)
栃木県	3.4	6.1	4.8(3.9)	島根県	1.9	3.2	3.4(3.2)	新潟市	2.1	-	2.6(2.8)
群馬県	3.4	3.6	4.0(4.7)	岡山県	3.2	4.9	4.7(5.2)	静岡市	2.4	3.9	3.2(3.2)
埼玉県	1.9	3.8	2.9(3.1)	広島県	2.3	4.1	3.6(3.0)	浜松市	2.9	4.6	3.8(3.7)
千葉県	1.8	-	3.0(3.0)	山口県	1.7	2.8	2.7(3.2)	名古屋市	2.6	-	3.6(3.8)
東京都	-	-	2.3(3.6)	徳島県	3.9	5.5	5.7(5.5)	京都市	5.5	6.9	5.8(5.4)
神奈川県	2.3	4.4	3.6(4.0)	香川県	3.4	4.6	4.6(4.6)	大阪市	2.5	3.6	3.1(4.0)
新潟県	2.0	3.7	2.7(2.8)	愛媛県	2.1	3.3	3.0(3.1)	堺市	3.3	4.1	3.7(5.5)
富山県	1.4	-	2.1(2.0)	高知県	9.4	7.8	8.5(8.8)	神戸市	2.9	4.2	3.6(7.3)
石川県	2.5	-	3.2(3.5)	福岡県	1.4	2.2	2.6(2.8)	岡山市	2.8	4.7	3.8(4.1)
福井県	2.4	-	3.0(3.9)	佐賀県	1.6	1.9	2.3(2.5)	広島市	(2.3)	(4.1)	(3.6)[(3.0)]
山梨県	1.6	3.1	2.7(3.0)	長崎県	1.4	2.2	2.1(2.4)	北九州市	2.4	3.8	2.9(3.0)
長野県	2.7	4.3	3.7(3.5)	熊本県	-	-	2.6(3.2)	福岡市	2.0	2.7	2.4(2.4)
岐阜県	1.8	3.2	2.9(2.9)	大分県	1.3	2.8	2.8(2.6)	熊本市	1.5	3.6	2.3(3.0)
静岡県	3.1	5.1	4.1(4.2)	宮崎県	1.7	3.3	3.0(3.3)	豊能地区	2.9	5.0	3.8(5.0)
愛知県	2.2	3.8	3.3(3.8)	鹿児島県	1.4	2.8	2.5(3.0)	合計	2.3	4.3	3.4(3.7)

(注1)「計(※)」は小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の合計

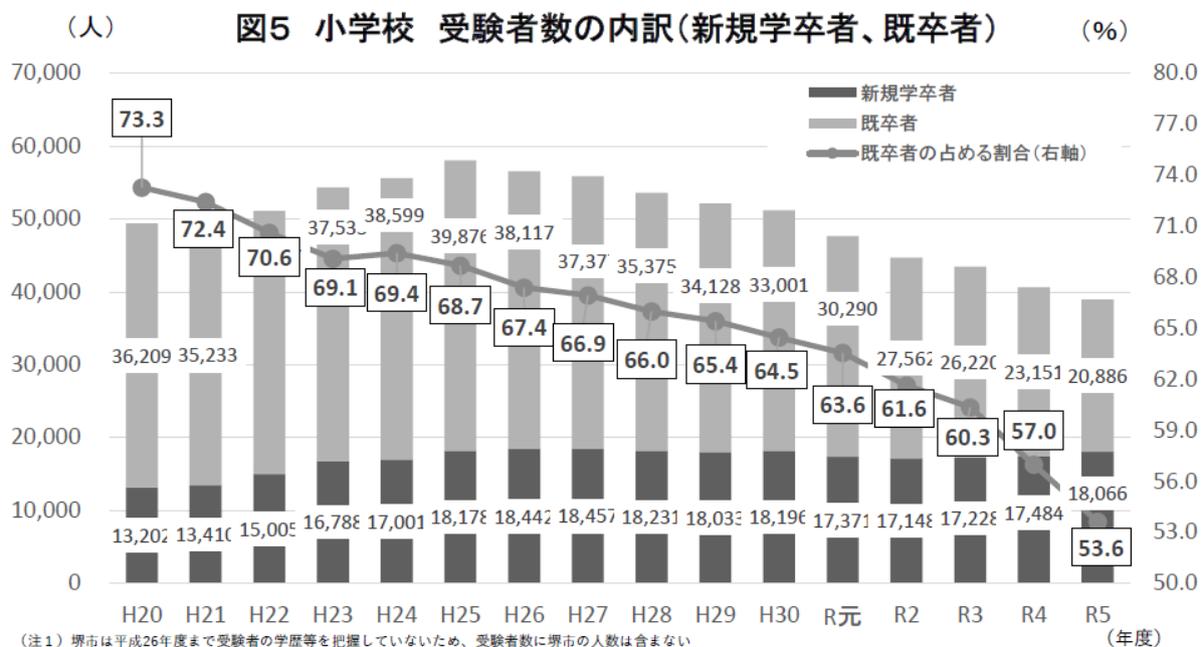
(注2)小学校・中学校(または中学校・高等学校)の試験区分を(一部)分けずに採用選考を実施している県市については、「-」としている

(注3)都道府県と指定都市で採用選考を合同で実施している指定都市の競争率は、都道府県と同値を( ) [ ] で記載している

(注4)計欄の( )内には、令和4年度の総計の倍率を記載している。

## 5. 受験者数の新規学卒者・既卒者の内訳

○小学校については昨年度と同様、新規学卒者が増加した一方、既卒の受験者が減少している。中学校についても新規学卒者が増加したが、既卒者が引き続き減少している。

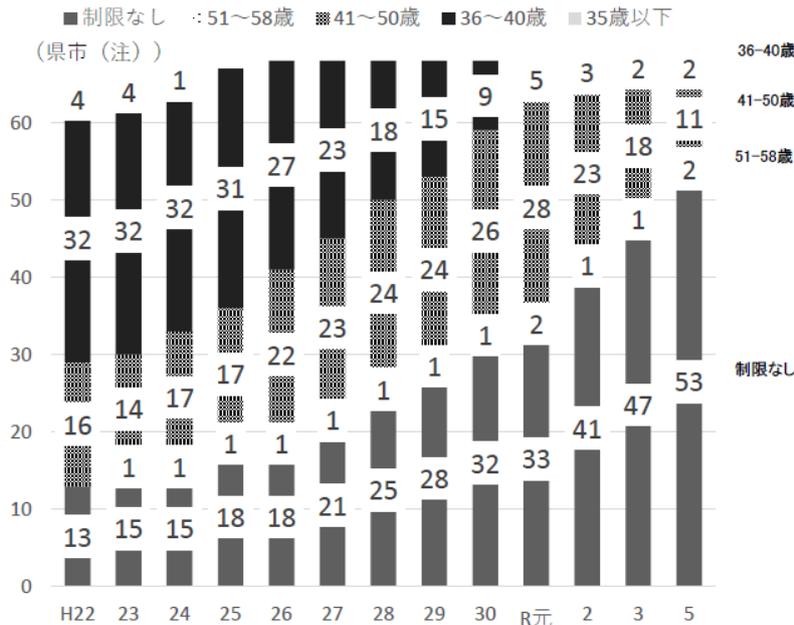


【資料 4】文部科学省「令和 5 年度（令和 4 年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施方法のポイント」より抜粋

9. 受験年齢制限の状況(第10表より抜粋)

○「制限なし」が53県市で、令和3年度調査の47県市から増加しており、年齢制限の緩和が進んでいる。

図3 採用選考における基本的年齢制限



今年度に変更のあった県市

県市名	基本的年齢制限
栃木県	44 → 制限なし
山口県	49 → 制限なし
徳島県	49 → 制限なし
長崎県	49 → 制限なし
熊本県	49 → 制限なし
鹿児島県	49 → 54
京都市	49 → 制限なし

(出典)文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施方法について」  
 (注1)平成22年度は65県市、平成23・24年度は66県市、平成25年度は67県市、平成26年度以降は68県市  
 (注2)「基本的年齢制限」とは、一般選考の中心校種(小学校や中学校)における年齢制限  
 (注3)「制限なし」は各年4月1日現在で満59歳以下の者を対象

## 2 幼児期の教育・保育に従事する人材の必要見込み数

県では、下記の幼稚園教諭・保育士等の必要見込み数の設定の考え方に基づく算定方法により、県計画値の供給量（確保の内容）の利用定員数に対応する必要見込み数を算出し、計画的な人材確保の取組みを進めていきます。

### ◆ 幼稚園教諭・保育士等の必要見込み数の設定の考え方

- まず、県計画の「供給量（確保の内容）」における施設・事業の区分、認定区分（年齢）ごとの「利用定員数」を基に、各施設・事業、年齢、職種ごとの「配置基準（最低基準）」を用いて、「年度・職種」ごとの「配置基準上の必要数」を算定します。
- この「配置基準上の必要数」に、これまでの職員配置の現状に基づき算出した職種（必要に応じ施設・事業区分）ごとの「加配率」（配置基準を超えて配置されている職員数の割合）を乗じて、より実態に即した「必要見込み数」を設定します。

### 幼児期の教育・保育に従事する人材の必要見込み数（各年度4月1日時点）

（単位：人）

職種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
幼稚園教諭	8,061	7,726	7,354	7,047	6,788
保育士	37,239	38,531	39,607	40,644	41,666
保育教諭	2,955	3,126	3,353	3,425	3,498
保育従事者（※1）	68	76	82	92	101
家庭的保育者（※2）	195	210	219	240	251
家庭的保育補助者（※3）	173	187	195	206	215

※1 小規模保育事業（B型）及び事業所内保育事業（小規模B型基準）における保育従事者

※2 小規模保育事業（C型）、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業における家庭的保育者

※3 小規模保育事業（C型）及び家庭的保育事業における家庭的保育補助者

出典：国立社会保障・人口問題研究所ホームページ『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）』より

結果表2-2 15～64歳人口および指数（令和2（2020）年=100とした場合）

市などの別：a=都道府県，0=政令市の区（東京23区を含む），1=政令市，2=その他の市，3=町村，9=浜通り地域

福島県「浜通り地域」は、いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村の13市町村を含む地域です。

上記13市町村の個別の推計値は存在しません。

コード	市などの別	都道府県	市区町村	15～64歳人口（人）							令和2（2020）年の15～64歳人口を100としたときの15～64歳人口の指数						
				2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
1000 a	北海道			2,988,800	2,828,783	2,670,026	2,483,848	2,234,850	2,028,881	1,867,276	100.0	94.6	89.3	83.1	74.8	67.9	62.5
2000 a	青森県			689,910	625,182	566,911	508,287	441,347	382,507	333,311	100.0	90.6	82.2	73.7	64.0	55.4	48.3
3000 a	岩手県			670,784	617,620	569,947	520,867	461,053	406,993	361,659	100.0	92.1	85.0	77.7	68.7	60.7	53.9
4000 a	宮城県			1,385,425	1,331,933	1,282,071	1,214,737	1,113,482	1,021,362	943,919	100.0	96.1	92.5	87.7	80.4	73.7	68.1
5000 a	秋田県			506,960	455,133	411,137	370,643	322,580	278,101	242,022	100.0	89.8	81.1	73.1	63.6	54.9	47.7
6000 a	山形県			586,578	540,363	502,083	464,302	417,008	372,617	335,667	100.0	92.1	85.6	79.2	71.1	63.5	57.2
7000 a	福島県			1,045,887	962,016	894,256	826,184	738,977	660,460	593,382	100.0	92.0	85.5	79.0	70.7	63.1	56.7
8000 a	茨城県			1,681,662	1,613,047	1,546,216	1,453,953	1,321,944	1,220,128	1,139,359	100.0	95.9	91.9	86.5	78.6	72.6	67.8
9000 a	栃木県			1,142,706	1,086,655	1,040,836	979,435	892,202	823,267	769,354	100.0	95.1	91.1	85.7	78.1	72.0	67.3
10000 a	群馬県			1,127,799	1,087,594	1,041,581	976,788	887,306	820,981	772,322	100.0	96.4	92.4	86.6	78.7	72.8	68.5
11000 a	埼玉県			4,488,130	4,472,309	4,385,497	4,202,081	3,923,681	3,744,126	3,618,921	100.0	99.6	97.7	93.6	87.4	83.4	80.6
12000 a	千葉県			3,813,987	3,809,472	3,741,013	3,588,393	3,357,480	3,208,821	3,103,053	100.0	99.9	98.1	94.1	88.0	84.1	81.4
13000 a	東京都			9,284,428	9,438,903	9,487,041	9,354,258	9,063,735	8,857,361	8,700,406	100.0	101.7	102.2	100.8	97.6	95.4	93.7
14000 a	神奈川県			5,790,049	5,768,517	5,644,911	5,383,220	5,043,187	4,828,852	4,691,248	100.0	99.6	97.5	93.0	87.1	83.4	81.0
15000 a	新潟県			1,232,070	1,149,489	1,081,602	1,001,238	897,374	806,556	734,647	100.0	93.3	87.8	81.3	72.8	65.5	59.6
16000 a	富山県			581,617	551,118	525,113	491,278	439,646	402,969	377,197	100.0	94.8	90.3	84.5	75.6	69.3	64.9
17000 a	石川県			657,990	629,668	605,740	572,565	521,649	485,487	461,618	100.0	95.7	92.1	87.0	79.3	73.8	70.2
18000 a	福井県			436,121	412,789	392,048	368,926	334,634	307,178	285,369	100.0	94.7	89.9	84.6	76.7	70.4	65.4
19000 a	山梨県			467,443	444,574	415,955	383,397	346,261	319,507	299,037	100.0	95.1	89.0	82.0	74.1	68.4	64.0
20000 a	長野県			1,148,164	1,102,831	1,049,335	980,324	888,381	818,856	771,240	100.0	96.1	91.4	85.4	77.4	71.3	67.2
21000 a	岐阜県			1,133,872	1,082,540	1,026,089	953,246	856,533	784,113	728,848	100.0	95.5	90.5	84.1	75.5	69.2	64.3
22000 a	静岡県			2,100,962	2,017,755	1,930,599	1,808,382	1,647,073	1,527,594	1,433,292	100.0	96.0	91.9	86.1	78.4	72.7	68.2
23000 a	愛知県			4,654,635	4,609,269	4,510,541	4,314,787	4,013,422	3,805,989	3,649,053	100.0	99.0	96.9	92.7	86.2	81.8	78.4
24000 a	三重県			1,027,332	984,101	935,952	874,729	791,349	730,824	683,718	100.0	95.8	91.1	85.1	77.0	71.1	66.6
25000 a	滋賀県			849,686	837,931	817,612	781,095	721,617	675,441	640,539	100.0	98.6	96.2	91.9	84.9	79.5	75.4
26000 a	京都府			1,527,284	1,494,736	1,439,747	1,354,166	1,232,296	1,143,639	1,080,300	100.0	97.9	94.3	88.7	80.7	74.9	70.7
27000 a	大阪府			5,363,326	5,301,418	5,113,920	4,803,291	4,386,551	4,108,151	3,898,953	100.0	98.8	95.3	89.6	81.8	76.6	72.7
28000 a	兵庫県			3,197,092	3,087,366	2,960,640	2,775,328	2,517,803	2,338,024	2,202,131	100.0	96.6	92.6	86.8	78.8	73.1	68.9
29000 a	奈良県			749,514	708,297	664,371	608,730	537,993	487,006	447,582	100.0	94.5	88.6	81.2	71.8	65.0	59.7
30000 a	和歌山県			509,212	476,296	443,145	406,090	359,647	325,712	297,960	100.0	93.5	87.0	79.7	70.6	64.0	58.5
31000 a	鳥取県			306,288	285,408	270,841	256,216	233,289	213,269	196,930	100.0	93.2	88.4	83.7	76.2	69.6	64.3
32000 a	島根県			359,735	339,741	325,738	310,058	285,130	263,704	246,895	100.0	94.4	90.5	86.2	79.3	73.3	68.6
33000 a	岡山県			1,082,126	1,045,799	1,014,077	966,770	886,741	828,239	782,539	100.0	96.6	93.7	89.3	81.9	76.5	72.3
34000 a	広島県			1,622,812	1,556,540	1,508,656	1,429,627	1,308,090	1,220,267	1,154,706	100.0	95.9	93.0	88.1	80.6	75.2	71.2
35000 a	山口県			723,588	677,301	642,850	598,268	534,143	484,065	445,124	100.0	93.6	88.8	82.7	73.8	66.9	61.5
36000 a	徳島県			395,215	364,116	339,887	313,373	277,811	248,416	224,049	100.0	92.1	86.0	79.3	70.3	62.9	56.7
37000 a	香川県			533,564	507,781	489,812	464,357	422,054	389,226	364,743	100.0	95.2	91.8	87.0	79.1	72.9	68.4
38000 a	愛媛県			737,231	689,512	650,837	606,934	543,633	492,183	451,418	100.0	93.5	88.3	82.3	73.7	66.8	61.2
39000 a	高知県			370,997	341,819	317,517	292,904	257,702	228,702	205,991	100.0	92.1	85.6	79.0	69.5	61.6	55.5
40000 a	福岡県			3,035,328	2,979,017	2,931,548	2,837,365	2,664,643	2,518,789	2,401,316	100.0	98.1	96.6	93.5	87.8	83.0	79.1
41000 a	佐賀県			453,697	429,288	409,183	387,924	358,189	330,518	307,017	100.0	94.6	90.2	85.5	78.9	72.8	67.7
42000 a	長崎県			714,726	646,769	599,932	552,698	494,834	445,080	401,625	100.0	90.5	83.9	77.3	69.2	62.3	56.2
43000 a	熊本県			963,053	913,990	873,996	832,004	773,462	718,471	671,032	100.0	94.9	90.8	86.4	80.3	74.6	69.7
44000 a	大分県			613,637	579,681	553,998	524,338	480,480	442,300	412,914	100.0	94.5	90.3	85.4	78.3	72.1	67.3
45000 a	宮崎県			580,412	543,678	516,410	488,819	449,306	412,636	382,545	100.0	93.7	89.0	84.2	77.4	71.1	65.9
46000 a	鹿児島県			863,898	801,910	757,249	713,386	658,618	605,176	558,100	100.0	92.8	87.7	82.6	76.2	70.1	64.6
47000 a	沖縄県			892,133	870,970	858,365	835,943	794,188	760,373	731,708	100.0	97.6	96.2	93.7	89.0	85.2	82.0

【資料7】東京都教育委員会ホームページ

「幼稚園教諭経験のある皆さんへ 小学校の先生を目指してみませんか？」

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/static/kyoinsenko/saiyo\\_mezasu.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/static/kyoinsenko/saiyo_mezasu.html)

(幼稚園教諭経験者の小学校教諭免許状取得に係る受講費用等の補助制度の紹介)

東京都教育委員会 Tokyo Metropolitan Board of Education

音声読み上げ・ふりがな 文字サイズ・配色 Language 都庁総合ホームページ

このサイトの使い方 サイトマップ 検索

トップ 教育委員会について 児童・生徒・保護者 教育関係者 事業者・地域の方 採用情報 相談・手続・窓口

トップページ > 幼稚園教諭経験のある皆さんへ 小学校の先生を目指してみませんか？



幼稚園教諭経験のある皆さんへ  
小学校の先生を目指してみませんか？

- ▶ 東京都公立学校教員採用ポータルサイト
- ▶ 実習助手・寄宿舎指導員選考情報
- ▶ 日勤講師(非常勤教員)選考情報
- ▶ 各種選考のご案内
- ▶ 各種資料 (実施要綱・教員採用案内等)
- ▶ 教育職員免許状に関すること
- ▶ その他関連情報

東京都教育委員会 Tokyo Metropolitan Board of Education

小学校の先生を目指す方に  
こんなサポートがあります！

自己負担費用 最大 15万円 0円

**条件**

- ・ 幼稚園教諭の経験者
- ・ 小学校教諭二種免許状を取得予定の方
- ・ 教員採用試験の合格後、都内の公立小学校で1年以上働ける方
- ・ 採用後、これからの制度を受けたい方向けの説明会等にご協力いただける方

**手続き**

制度を受けるために事前申請と審査が必要となります。別記様式第1号(補助登録申込書)を郵送でご提出ください。

[補助制度への申し込みはこちら](#)

取得しやすい仕組み、具体的には・・・

幼稚園教諭を経験しない通常の場合 (短期大学等で小学校2種免許を取得)

短期大学士の学位 (45単位)	教育実習 介護等体験
--------------------	---------------

幼稚園教諭を経験した場合

幼稚園経験 常勤3年 (非常勤は6年) ※東京都の場合	→	所要単位数 <b>13単位</b> (幼稚園免許取得後に取った単位のみ有効) 通常より必要な単位数が少なく教育実習等も不要です！
--------------------------------------	---	---

この仕組みは、教育職員免許法第6条別表第8に基づくものです。  
こちらも併せてご覧ください。⇒ [\(免許担当のページへ\)](#)

💡 さらに、通信教育を活用すれば、働きながら免許を取得することもできます！

通信制で小学校教諭免許状取得が可能な東京近郊の大学 (例)

東京都	玉川大学	<a href="https://www.tamagawa.jp/">https://www.tamagawa.jp/</a>
	創価大学	<a href="https://www.soka.ac.jp/">https://www.soka.ac.jp/</a>
	東京未来大学	<a href="https://corres.tokyoumirai.ac.jp/entry/syogaku_menkyo_youchien.html">https://corres.tokyoumirai.ac.jp/entry/syogaku_menkyo_youchien.html</a>
	明星大学	<a href="https://www.meisei-u.ac.jp/">https://www.meisei-u.ac.jp/</a>
神奈川県	星槎大学	<a href="http://www.seisa.ac.jp/">http://www.seisa.ac.jp/</a>
千葉県	聖徳大学	<a href="http://www.seitoku.jp/univ/">http://www.seitoku.jp/univ/</a>

※大学により入学時期に制限がありますのでご注意ください。  
※他にも取得可能な大学があります。(リンクを希望される大学の方は御連絡ください。)

## 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	神奈川県	1,189人	70.7%
2	東京都	168人	10.0%
3	静岡県	101人	6.0%
4	長野県	22人	1.3%
5	千葉県	21人	1.2%
	全 体	1,681人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	神奈川県	86.26%	77.86%	65.41%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	教育系	78.98%	73.96%	68.36%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

## 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2

大学学部学科等名：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

## 1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	60人	60人	60人	70人	70人	64人	
	延べ人数	志願者数	97人	69人	56人	54人	44人	64人
		受験者数	87人	64人	56人	52人	42人	60人
		合格者数	75人	63人	56人	52人	41人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	4人	13人	13人	19人	12人
	実人数	志願者数	97人	69人	56人	54人	44人	64人
		受験者数	87人	64人	56人	52人	42人	60人
		合格者数	75人	63人	56人	52人	41人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	4人	13人	13人	19人	12人
	入学者数	66人	59人	43人	39人	22人	46人	
	学校推薦型選抜	募集人数	110人	110人	110人	100人	100人	106人
		延べ人数	志願者数	151人	155人	105人	105人	78人
受験者数			151人	155人	105人	105人	78人	119人
合格者数			151人	155人	105人	105人	78人	119人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	5人	7人	3人	3人
実人数		志願者数	151人	155人	105人	105人	78人	119人
		受験者数	151人	155人	105人	105人	78人	119人
		合格者数	151人	155人	105人	105人	78人	119人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	5人	7人	3人	3人
入学者数		151人	155人	100人	98人	75人	116人	
一般選抜		募集人数	25人	25人	25人	25人	25人	25人
		延べ人数	志願者数	97人	119人	232人	175人	136人
	受験者数		89人	111人	191人	144人	99人	127人
	合格者数		29人	33人	146人	87人	66人	72人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		9人	16人	114人	73人	62人	55人
	実人数	志願者数	97人	119人	232人	175人	136人	152人
		受験者数	89人	111人	191人	144人	99人	127人
		合格者数	29人	33人	146人	87人	66人	72人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	9人	16人	114人	73人	62人	55人
	入学者数	20人	17人	32人	14人	4人	17人	
	共通テスト利用入試	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	104人	97人	70人	35人	18人
受験者数			104人	97人	70人	34人	18人	65人
合格者数			100人	97人	70人	34人	18人	64人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			89人	81人	67人	34人	16人	57人
実人数		志願者数	104人	97人	70人	35人	18人	65人
		受験者数	104人	97人	70人	34人	18人	65人
		合格者数	100人	97人	70人	34人	18人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	89人	81人	67人	34人	16人	57人
入学者数		11人	16人	3人	0人	2人	6人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	1人	1人	0人	1人	1人
	受験者数		1人	1人	0人	1人	1人	1人
	合格者数		1人	1人	0人	1人	1人	1人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人
		受験者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人
		合格者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	1人	1人	0人	1人	1人	1人	
	合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	200人	200人
		延べ人数	志願者数	450人	441人	463人	370人	277人
受験者数			432人	428人	422人	336人	238人	371人
合格者数			356人	349人	377人	279人	204人	313人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			107人	101人	199人	127人	100人	127人
実人数		志願者数	450人	441人	463人	370人	277人	400人
		受験者数	432人	428人	422人	336人	238人	371人
		合格者数	356人	349人	377人	279人	204人	313人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	107人	101人	199人	127人	100人	127人
入学者数		249人	248人	178人	152人	104人	186人	

## 3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	200人	200人
入学定員充足率	1.25	1.24	0.89	0.76	0.52	0.93
歩留率	0.70	0.71	0.47	0.54	0.51	0.59

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

## V 短期大学の概況

### 1. 志願者数等の増減状況

	R5年度	R4年度	増減
集計学校数	276校	279校	△ 3校
入学定員	48,817人	50,857人	△ 2,040人 (△ 4.0%)
志願者数	45,989人	53,436人	△ 7,447人 (△ 13.9%)
受験者数	44,750人	51,779人	△ 7,029人 (△ 13.6%)
合格者数	41,779人	48,014人	△ 6,235人 (△ 13.0%)
入学者数	35,141人	39,461人	△ 4,320人 (△ 10.9%)
志願倍率	0.94倍	1.05倍	△ 0.11ポイント
合格率	93.36%	92.73%	0.63ポイント
歩留率	84.11%	82.19%	1.92ポイント
入学定員充足率	71.99%	77.59%	△ 5.60ポイント
入学定員充足率 100%未満の学校数	254校 (92.0%)	239校 (85.7%)	15校 (6.3ポイント)

志願倍率=志願者数÷入学定員, 合格率=合格者数÷受験者数, 歩留率=入学者数÷合格者数, 入学定員充足率=入学者数÷入学定員

#### 《今年度の特徴》

##### 1 短期大学の概況

- 入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数は、前年度からいずれも減少した。
- 入学者数は4,320人減少して、35,141人となった。
- 入学定員充足率は5.60ポイント下降して、71.99%となった。
- 入学定員充足率が100%未満の短期大学は15校増加して254校となり、短期大学全体に占める未充足校の割合は6.3ポイント上昇し、92.0%となった。

##### 2 区分ごとの動向

###### ○規模別の動向

- ・すべての区分において、入学定員充足率が100%未満であったが、「500人以上」の区分では、3.73ポイント上昇して75.92%となった。
- ・入学定員充足率が高い区分は、「400人以上500人未満」の80.00%、「300人以上350人未満」の76.40%、「500人以上」の75.92%となっている。

###### ○地域別の動向（学校別）

- ・入学定員充足率が上昇した地域は、「宮城」のみで、前年度から2.00ポイント上昇し、入学定員充足率が93.57%となった。

###### ○学科系統別の動向

- ・すべての区分において入学定員充足率が下降した。
- ・入学定員充足率が90%以上の系統は、「芸術系」の1区分であった。

## 2. 地域別の動向（短期大学・学校別）

全国を21の地域に区分した。集計は学校所在地ごととした。

地域区分	年度	集計 学校数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		校	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
北海道	R4	13	2,325	2,275	2,254	2,151	1,658	0.98	95.43	77.08	71.31
	R5	12	2,125	1,821	1,812	1,717	1,373	0.86	94.76	79.97	64.61
	増減	△ 1	△ 200	△ 454	△ 442	△ 434	△ 285	△ 0.12	△ 0.67	2.89	△ 6.70
東北 (宮城を除く)	R4	17	2,180	1,862	1,850	1,774	1,641	0.85	95.89	92.50	75.28
	R5	17	2,035	1,645	1,639	1,568	1,463	0.81	95.67	93.30	71.89
	増減	0	△ 145	△ 217	△ 211	△ 206	△ 178	△ 0.04	△ 0.22	0.80	△ 3.39
宮城	R4	5	1,245	1,455	1,406	1,309	1,140	1.17	93.10	87.09	91.57
	R5	5	1,245	1,389	1,353	1,288	1,165	1.12	95.20	90.45	93.57
	増減	0	0	△ 66	△ 53	△ 21	25	△ 0.05	2.10	3.36	2.00
関東 (埼玉、千葉、東京、 神奈川を除く)	R4	15	2,335	2,080	2,069	1,996	1,735	0.89	96.47	86.92	74.30
	R5	15	2,190	1,790	1,782	1,710	1,528	0.82	95.96	89.36	69.77
	増減	0	△ 145	△ 290	△ 287	△ 286	△ 207	△ 0.07	△ 0.51	2.44	△ 4.53
埼玉	R4	11	2,045	1,752	1,742	1,717	1,630	0.86	98.56	94.93	79.71
	R5	11	1,930	1,497	1,491	1,474	1,428	0.78	98.86	96.88	73.99
	増減	0	△ 115	△ 255	△ 251	△ 243	△ 202	△ 0.08	0.30	1.95	△ 5.72
千葉	R4	8	1,410	1,357	1,355	1,325	1,230	0.96	97.79	92.83	87.23
	R5	8	1,410	1,269	1,262	1,244	1,176	0.90	98.57	94.53	83.40
	増減	0	0	△ 88	△ 93	△ 81	△ 54	△ 0.06	0.78	1.70	△ 3.83
東京	R4	33	5,615	6,265	6,038	5,561	4,143	1.12	92.10	74.50	73.78
	R5	32	5,055	5,398	5,188	4,849	3,656	1.07	93.47	75.40	72.32
	増減	△ 1	△ 560	△ 867	△ 850	△ 712	△ 487	△ 0.05	1.37	0.90	△ 1.46
神奈川	R4	11	2,570	2,379	2,324	2,214	2,001	0.93	95.27	90.38	77.86
	R5	11	2,570	1,996	1,939	1,863	1,681	0.78	96.08	90.23	65.41
	増減	0	0	△ 383	△ 385	△ 351	△ 320	△ 0.15	0.81	△ 0.15	△ 12.45
甲信越	R4	15	2,245	2,128	2,106	1,993	1,852	0.95	94.63	92.93	82.49
	R5	15	2,200	1,804	1,770	1,737	1,613	0.82	98.14	92.86	73.32
	増減	0	△ 45	△ 324	△ 336	△ 256	△ 239	△ 0.13	3.51	△ 0.07	△ 9.17
北陸	R4	7	1,530	2,003	1,976	1,862	1,311	1.31	94.23	70.41	85.69
	R5	6	1,430	1,457	1,443	1,407	1,078	1.02	97.51	76.62	75.38
	増減	△ 1	△ 100	△ 546	△ 533	△ 455	△ 233	△ 0.29	3.28	6.21	△ 10.31
東海 (愛知を除く)	R4	15	2,410	2,288	2,250	2,166	2,002	0.95	96.27	92.43	83.07
	R5	15	2,410	1,979	1,951	1,865	1,714	0.82	95.59	91.90	71.12
	増減	0	0	△ 309	△ 299	△ 301	△ 288	△ 0.13	△ 0.68	△ 0.53	△ 11.95
愛知	R4	16	3,257	3,061	3,005	2,822	2,264	0.94	93.91	80.23	69.51
	R5	16	3,142	2,655	2,600	2,458	2,021	0.85	94.54	82.22	64.32
	増減	0	△ 115	△ 406	△ 405	△ 364	△ 243	△ 0.09	0.63	1.99	△ 5.19
近畿 (京都、大阪、兵庫を除く)	R4	7	1,230	1,904	1,881	1,302	1,122	1.55	69.22	86.18	91.22
	R5	7	1,230	1,319	1,259	1,036	929	1.07	82.29	89.67	75.53
	増減	0	0	△ 585	△ 622	△ 266	△ 193	△ 0.48	13.07	3.49	△ 15.69
京都	R4	9	1,720	2,089	2,015	1,768	1,347	1.21	87.74	76.19	78.31
	R5	9	1,670	1,941	1,880	1,555	1,188	1.16	82.71	76.40	71.14
	増減	0	△ 50	△ 148	△ 135	△ 213	△ 159	△ 0.05	△ 5.03	0.21	△ 7.17
大阪	R4	20	4,830	5,502	5,211	4,732	3,840	1.14	90.81	81.15	79.50
	R5	20	4,600	4,842	4,757	4,227	3,500	1.05	88.86	82.80	76.09
	増減	0	△ 230	△ 660	△ 454	△ 505	△ 340	△ 0.09	△ 1.95	1.65	△ 3.41
兵庫	R4	14	2,480	4,065	3,510	3,140	1,735	1.64	89.46	55.25	69.96
	R5	14	2,270	2,923	2,509	2,261	1,473	1.29	90.12	65.15	64.89
	増減	0	△ 210	△ 1,142	△ 1,001	△ 879	△ 262	△ 0.35	0.66	9.90	△ 5.07
中国 (広島を除く)	R4	13	1,915	1,842	1,826	1,720	1,440	0.96	94.19	83.72	75.20
	R5	13	1,885	1,689	1,666	1,604	1,353	0.90	96.28	84.35	71.78
	増減	0	△ 30	△ 153	△ 160	△ 116	△ 87	△ 0.06	2.09	0.63	△ 3.42
広島	R4	4	790	770	762	734	653	0.97	96.33	88.96	82.66
	R5	4	790	699	681	657	583	0.88	96.48	88.74	73.80
	増減	0	0	△ 71	△ 81	△ 77	△ 70	△ 0.09	0.15	△ 0.22	△ 8.86
四国	R4	11	1,750	1,423	1,394	1,323	1,179	0.81	94.91	89.12	67.37
	R5	11	1,750	1,345	1,332	1,256	1,105	0.77	94.29	87.98	63.14
	増減	0	0	△ 78	△ 62	△ 67	△ 74	△ 0.04	△ 0.62	△ 1.14	△ 4.23
九州 (福岡を除く)	R4	18	3,420	3,331	3,291	3,122	2,718	0.97	94.86	87.06	79.47
	R5	18	3,345	3,232	3,198	2,891	2,551	0.97	90.40	88.24	76.26
	増減	0	△ 75	△ 99	△ 93	△ 231	△ 167	0.00	△ 4.46	1.18	△ 3.21
福岡	R4	17	3,555	3,605	3,514	3,283	2,820	1.01	93.43	85.90	79.32
	R5	17	3,535	3,299	3,238	3,112	2,563	0.93	96.11	82.36	72.50
	増減	0	△ 20	△ 306	△ 276	△ 171	△ 257	△ 0.08	2.68	△ 3.54	△ 6.82
全国計	R4	279	50,857	53,436	51,779	48,014	39,461	1.05	92.73	82.19	77.59
	R5	276	48,817	45,989	44,750	41,779	35,141	0.94	93.36	84.11	71.99
	増減	△ 3	△ 2,040	△ 7,447	△ 7,029	△ 6,235	△ 4,320	△ 0.11	0.63	1.92	△ 5.60

#### 4. 学科系統別の動向（短期大学）

全学科を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学科系統区分については、60ページを参照）。

系統区分	年度	集計 学科数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学科	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
保健系	R4	39	3,070	4,120	3,947	3,347	2,763	1.34	84.80	82.55	90.00
	R5	42	3,200	3,780	3,652	3,224	2,661	1.18	88.28	82.54	83.16
	増減	3	130	△ 340	△ 295	△ 123	△ 102	△ 0.16	3.48	△ 0.01	△ 6.84
農工系	R4	19	1,725	2,117	1,968	1,745	1,377	1.23	88.67	78.91	79.83
	R5	18	1,715	1,842	1,722	1,622	1,156	1.07	94.19	71.27	67.41
	増減	△ 1	△ 10	△ 275	△ 246	△ 123	△ 221	△ 0.16	5.52	△ 7.64	△ 12.42
人文系	R4	43	4,370	5,069	4,807	4,612	2,839	1.16	95.94	61.56	64.97
	R5	40	4,120	3,983	3,863	3,771	2,466	0.97	97.62	65.39	59.85
	増減	△ 3	△ 250	△ 1,086	△ 944	△ 841	△ 373	△ 0.19	1.68	3.83	△ 5.12
社会系	R4	67	5,365	6,251	6,046	5,341	4,366	1.17	88.34	81.74	81.38
	R5	65	5,135	5,758	5,629	4,839	4,007	1.12	85.97	82.81	78.03
	増減	△ 2	△ 230	△ 493	△ 417	△ 502	△ 359	△ 0.05	△ 2.37	1.07	△ 3.35
家政系	R4	109	9,500	10,315	9,955	9,467	7,498	1.09	95.10	79.20	78.93
	R5	103	9,185	8,316	8,037	7,757	6,444	0.91	96.52	83.07	70.16
	増減	△ 6	△ 315	△ 1,999	△ 1,918	△ 1,710	△ 1,054	△ 0.18	1.42	3.87	△ 8.77
教育系	R4	185	19,927	17,379	17,013	16,426	14,738	0.87	96.55	89.72	73.96
	R5	182	18,912	14,865	14,584	14,177	12,928	0.79	97.21	91.19	68.36
	増減	△ 3	△ 1,015	△ 2,514	△ 2,429	△ 2,249	△ 1,810	△ 0.08	0.66	1.47	△ 5.60
芸術系	R4	26	2,355	2,874	2,794	2,547	2,192	1.22	91.16	86.06	93.08
	R5	26	2,255	2,831	2,744	2,335	2,044	1.26	85.09	87.54	90.64
	増減	0	△ 100	△ 43	△ 50	△ 212	△ 148	0.04	△ 6.07	1.48	△ 2.44
その他	R4	39	4,545	5,311	5,249	4,529	3,688	1.17	86.28	81.43	81.14
	R5	38	4,295	4,614	4,519	4,054	3,435	1.07	89.71	84.73	79.98
	増減	△ 1	△ 250	△ 697	△ 730	△ 475	△ 253	△ 0.10	3.43	3.30	△ 1.16
合計	R4	527	50,857	53,436	51,779	48,014	39,461	1.05	92.73	82.19	77.59
	R5	514	48,817	45,989	44,750	41,779	35,141	0.94	93.36	84.11	71.99
	増減	△ 13	△ 2,040	△ 7,447	△ 7,029	△ 6,235	△ 4,320	△ 0.11	0.63	1.92	△ 5.60

## 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

## ①募集を行った学科等名称及び取組の名称：初等教育学科のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	4521人	6525人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、在学生との懇談、施設案内等を実施。 R4年度入試対象(R3開催)：計12回開催 (4/18.5/16.6/13.7/17.7/18.8/8/9.8/29.9/12.10/17.11/6.11/7) R5年度入試対象(R4開催)：計12回開催 (4/17.5/15.6/11.6/12.7/16.7/17.8/6.8/7.8/28.9/11.11/5.11/6)
うち受験対象者数(b)	2322人	2209人	
うち受験者数(c)	236人	147人	
うち入学者数(d)	176人	98人	
(受験率 c/b)	10.2%	6.7%	
(入学率 d/b)	7.6%	4.4%	

## ②募集を行った学科等名称及び取組の名称：初等教育学科の大学案内の送付

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	24163人	22596人	①取組概要 本学ホームページ及び各種受験情報誌等から資料請求のあった者に対し大学案内を送付した。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※新設組織は既設組織と異なるPR活動を行うため、本取組(大学案内の送付)は予定していない。 ③資料請求者(a)のうち、当該学科の受験生となり得る学年の現役生及び既卒者を(b)とした。
うち受験対象者数(b)	14607人	13460人	
うち受験者数(c)	246人	136人	
うち入学者数(d)	155人	82人	
(受験率 c/b)	1.7%	1.0%	
(入学率 d/b)	1.1%	0.6%	

## ③募集を行った学科等名称及び取組の名称：初等教育学科の学外進学相談会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	314人	410人	①取組概要 学外で実施された進学相談会等のイベントに参画し、既設組織の特色について紹介した。 R4年度入試対象(R3開催)：計30回(会場都道府県/神奈川県、東京、埼玉、栃木、群馬、茨城、静岡、山梨、新潟、長野、福島、沖縄) R5年度入試対象(R4開催)：計33回(会場都道府県/神奈川県、東京、埼玉、栃木、群馬、茨城、静岡、山梨、新潟、長野、福島、沖縄)
うち受験対象者数(b)	185人	246人	
うち受験者数(c)	7人	6人	
うち入学者数(d)	3人	4人	
(受験率 c/b)	3.8%	2.4%	
(入学率 d/b)	1.6%	1.6%	

## ④募集を行った学科等名称及び取組の名称：初等教育学科の高校内ガイダンス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	284人	255人	①取組概要 高校で開催される進学説明会や学校紹介のガイダンスに参加し、既設組織の特色について紹介した。 R4年度入試対象(R3開催)：計111回(オンライン開催含む) R5年度入試対象(R4開催)：計95回
うち受験対象者数(b)	170人	134人	
うち受験者数(c)	18人	7人	
うち入学者数(d)	17人	5人	
(受験率 c/b)	10.6%	5.2%	
(入学率 d/b)	10.0%	3.7%	

## ⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

**【資料12】「学生確保に関するアンケート調査」添付資料一覧**

調査	添付資料
調査1：全国Web調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査概要、質問票と単純集計の結果</li> </ul>
調査2：本学ホームページ調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査概要、質問票と単純集計の結果</li> <li>・ アンケート画面</li> </ul>
調査3：本学在学学生調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査概要、質問票と単純集計の結果</li> <li>・ アンケート依頼内容、アンケート画面</li> </ul>
調査4：本学卒業生調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査概要、質問票と単純集計の結果</li> <li>・ アンケート依頼内容、アンケート画面</li> </ul>
調査1, 2, 3, 4共通	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning courseリーフレット
調査5：希望入学年度を把握するための質問項目を設けた追加的な調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査票</li> </ul>

## 調査1：全国Web調査

### 1. 調査概要

- 調査目的：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseのニーズ調査
- 対象者：全国の18歳から69歳男女
- 調査手法：Web調査（株式会社日経リサーチに実査を委託）
- 調査時期：令和5年11月～12月
- 回収件数：4,240件
- 備考：事前のスクリーニング質問「SQ1あなたは、リスキリング（仕事に必要な新しい知識やスキルを学ぶこと）に関心がありますか」に「関心がない」回答者を除外

### 2. 質問票と単純集計の結果

※構成比（%）は有効回答件数に対する構成比（小数第二位を四捨五入）であるため、合計は必ずしも100とは一致しない。

属性 性別をお答えください (n=4,240)		
	回答数	Percent
○ 1. 女性	2,137	50.4
○ 2. 男性	2,103	49.6
	4,240	100

属性 年齢をお答えください (n=4,240)		
	回答数	Percent
○ 1. 18～29歳	550	13.0
○ 2. 30代	680	16.0
○ 3. 40代	915	21.6
○ 4. 50代	989	23.3
○ 5. 60代	1,106	26.1
	4,240	100

属性 居住都道府県をお答えください (n=4,240)		
	回答数	Percent
○ 1. 北海道	194	4.6
○ 2. 青森県	40	0.9
○ 3. 岩手県	30	0.7
○ 4. 宮城県	83	2.0
○ 5. 秋田県	35	0.8
○ 6. 山形県	28	0.7
○ 7. 福島県	44	1.0
○ 8. 茨城県	66	1.6
○ 9. 栃木県	56	1.3
○ 10. 群馬県	60	1.4
○ 11. 埼玉県	253	6.0
○ 12. 千葉県	209	4.9
○ 13. 東京都	533	12.6
○ 14. 神奈川県	364	8.6
○ 15. 新潟県	79	1.9
○ 16. 富山県	30	0.7
○ 17. 石川県	45	1.1
○ 18. 福井県	24	0.6
○ 19. 山梨県	16	0.4
○ 20. 長野県	52	1.2
○ 21. 岐阜県	73	1.7
○ 22. 静岡県	112	2.6
○ 23. 愛知県	278	6.6
○ 24. 三重県	57	1.3
○ 25. 滋賀県	49	1.2
○ 26. 京都府	87	2.1
○ 27. 大阪府	341	8.0
○ 28. 兵庫県	206	4.9
○ 29. 奈良県	45	1.1
○ 30. 和歌山県	28	0.7
○ 31. 鳥取県	14	0.3
○ 32. 島根県	16	0.4
○ 33. 岡山県	70	1.7
○ 34. 広島県	84	2.0
○ 35. 山口県	37	0.9
○ 36. 徳島県	16	0.4
○ 37. 香川県	24	0.6
○ 38. 愛媛県	41	1.0
○ 39. 高知県	21	0.5
○ 40. 福岡県	155	3.7
○ 41. 佐賀県	23	0.5
○ 42. 長崎県	39	0.9
○ 43. 熊本県	42	1.0
○ 44. 大分県	28	0.7
○ 45. 宮崎県	31	0.7
○ 46. 鹿児島県	43	1.0

○ 47. 沖縄県	39	0.9
	4,240	100

## SQ2

あなたが今後、リスキングに際して学びたいと考えている学問分野を次の中からすべて選択してください。(いくつでも) (n=4,240)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 初等教育	265	6.3
<input type="checkbox"/> 2. 幼稚園教育	267	6.3
<input type="checkbox"/> 3. 体育	272	6.4
<input type="checkbox"/> 4. 美術	536	12.6
<input type="checkbox"/> 5. 音楽	777	18.3
<input type="checkbox"/> 6. 秘書	317	7.5
<input type="checkbox"/> 7. その他の学問分野	2,955	69.7

## SQ3

あなたのご職業をお答えください。(ひとつだけ) (n=4,240)

	回答数	Percent
○ 1. 経営者・役員	117	2.8
○ 2. お勤め(正社員)	1,730	40.8
○ 3. お勤め(派遣社員・パート・アルバイト)	1,036	24.4
○ 4. 自営業	300	7.1
○ 5. 専業主婦・主夫	494	11.7
○ 6. 学生	145	3.4
○ 7. 無職	332	7.8
○ 8. その他	86	2.0
	4,240	100

## SQ4

あなたの最終学歴をお答えください。(ひとつだけ) (n=4,240)

	回答数	Percent
○ 1. 中学校	72	1.7
○ 2. 高等学校	1,127	26.6
○ 3. 専門学校・高等専門学校	626	14.8
○ 4. 短期大学	429	10.1
○ 5. 大学	1,800	42.5
○ 6. 大学院	170	4.0
○ 7. その他	16	0.4
	4,240	100

## SQ5

あなたの昨年の税込世帯年収についてお答えください。(同居している方がいない場合は、あなた自身の税込年収になります。)(ひとつだけ) (n=4,240)

	回答数	Percent
○ 1. 300万円未満	835	19.7
○ 2. 300～500万円未満	890	21.0
○ 3. 500～700万円未満	655	15.5
○ 4. 700～1,000万円未満	632	14.9
○ 5. 1,000～1,500万円未満	258	6.1
○ 6. 1,500～2,000万円未満	77	1.8
○ 7. 2,000～3,000万円未満	24	0.6
○ 8. 3,000万円以上	10	0.2
○ 9. わからない・答えたくない	859	20.3
	4,240	100

### (新設組織に関する説明)

リスキングに関連して、ここからは鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course (仮称・設置構想中) についての以下の説明を読んでからお答えください。

#### (1) 設置の概要

##### ① 設置の概要

名称：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course (仮称・設置構想中)

修業年限：2年

入学定員：300名(男女共学)

学位：短期大学士(教育学)

開設時期：2025(令和7)年4月

##### ② 設置の理念、養成する人物像

子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成する。

③設置場所（アクセス）

鎌倉女子大学 大船キャンパス 神奈川県鎌倉市大船6-1-3（JR・湘南モノレール「大船駅」下車、徒歩8分）  
 ※多くの授業は通学不要で単位を取得することが可能です。

④学生納付金（正科生）

授業料（年間）：230,000円、教育環境充実費（年間）：35,000円  
 初年度入学金：30,000円

⑤学生納付金（正科生）

授業料（年間）：230,000円、教育環境充実費（年間）：35,000円  
 初年度入学金：30,000円

⑥入学時期・選考方法

入学時期：4月、10月  
 選考方法：書類選考のうえ入学を許可します。

⑦近隣（神奈川県・東京都）の類似する大学・短期大学の通信教育課程

- 小学校教諭免許状を取得可能な通信制大学  
 （神奈川県）星槎大学 共生科学部 通信教育課程 初等教育専攻（4年制）  
 （東京都）明星大学 教育学部教育学科 通信教育課程 小学校教員コース（4年制）
- 幼稚園教諭免許状を取得可能な通信制短期大学  
 （神奈川県）小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 こども教育コース（2年制）こども保育コース（3年制）  
 （東京都）帝京短期大学 こども教育学科 通信教育課程 こども教育専攻（3年制）

※上記の内容は、あくまで予定であり、今後変更になる可能性があります。

(2) 取得可能な資格一覧（予定）

- 小学校教諭二種免許状（※）
  - 幼稚園教諭二種免許状（※）
  - 准学校心理士
  - 児童厚生二級指導員
  - 幼児体育指導員初級
  - レクレーション・インストラクター
  - キャンプ・インストラクター
  - 秘書士
- ※課程認定申請予定。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

(3) 入学審査の概要（予定）

入学出願書類による書類選考にて可否の判定（入学審査）を行う

**Q1** 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseには、以下のような特長があります。それぞれの特長について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれひとつずつ）（n=4,240）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	合計
Q1S1	1. 日本の短期大学の通信教育課程で初めて、小学校教諭の免許状を取得できる	904 21.3%	1,836 43.3%	988 23.3%	512 12.1%	4,240 100.0%
Q1S2	2. 最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる	910 21.5%	1,821 42.9%	989 23.3%	520 12.3%	4,240 100.0%
Q1S3	3. 通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる	1,531 36.1%	1,769 41.7%	591 13.9%	349 8.2%	4,240 100.0%
Q1S4	4. オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる	914 21.6%	2,121 50.0%	833 19.6%	372 8.8%	4,240 100.0%
Q1S5	5. 教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している	784 18.5%	2,049 48.3%	942 22.2%	465 11.0%	4,240 100.0%
Q1S6	6. 一部の対面スクーリングを、鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる	539 12.7%	2,005 47.3%	1,215 28.7%	481 11.3%	4,240 100.0%
Q1S7	7. 子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる	646 15.2%	2,132 50.3%	1,029 24.3%	433 10.2%	4,240 100.0%
Q1S8	8. 他の専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して、免許・資格を取得するダブルスクール方式で学ぶことができる	804 19.0%	2,091 49.3%	942 22.2%	403 9.5%	4,240 100.0%

**Q2** 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseが開設された場合、受験を希望しますか。（ひとつだけ）（n=4,240）

	回答数	percent
○ 1. 第一志望として受験する	305	7.2
○ 2. 第二志望として受験する	286	6.8
○ 3. 第三志望として受験する	131	3.1

○ 4. 受験しない	3,518	83.0
	4,240	100

### Q3

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseを受験して合格した場合、入学を希望しますか。  
(ひとつだけ) (n=722)

	回答数	percent
○ 1. 入学する	340	47.1
○ 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する⇒ Q2=2/3のみ表示	315	43.6
○ 3. 入学しない	67	9.3
	722	100

### Q4

リスニングに関心がある場合、どのような手段での学習を考えていますか。(それぞれひとつずつ)  
※各学校種別とも、社会人向けコースや通信教育課程を含むものとします (n=4,240)

		考えている	考えていない	合計
Q4S1	1. 大学への入学	536 12.6%	3,704 87.4%	4,240 100.0%
Q4S2	2. 短期大学への入学	744 18%	3,496 82%	4,240 100%
Q4S3	3. 専門職大学への入学	440 10.4%	3,800 89.6%	4,240 100.0%
Q4S4	4. 専門職短期大学への入学	350 8.3%	3,890 91.7%	4,240 100.0%
Q4S5	5. 専門学校への入学	500 11.8%	3,740 88.2%	4,240 100.0%
Q4S6	6. その他の学校への入学	353 8.3%	3,887 91.7%	4,240 100.0%
Q4S7	7. 学校に入学する以外の方法 (市販のテキストを利用したの自習など)	1,771 41.8%	2,469 58.2%	4,240 100.0%

### Q5

前問で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」を選択した方へお伺いします。入学を検討している学校の設置者の希望を選択してください。(いくつでも)  
(n=1,054)

	回答数 (複数回答)	percent (対 回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 国立	253	24.0
<input type="checkbox"/> 2. 公立	221	21.0
<input type="checkbox"/> 3. 私立	847	80.4

## 調査2：本学ホームページ調査

### 1. 調査概要

- 調査目的：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程のニーズ調査
- 対象者：本通信教育課程特設サイト訪問者
- 調査手法：本通信教育課程特設サイトに設置したフォームを利用したWeb調査
- 調査時期：令和5年7月～令和6年6月
- 回収件数：106件
- 備考：Q1の属性を問う質問で「本コースでの学びに関心のある皆さま」を選択した回答者に対して実施。Q14の回答歴を問う質問で「以前にも同じアンケートに回答したことがある」回答は除外。

### 2. 質問票と単純集計の結果

※構成比（％）は有効回答件数に対する構成比（小数第二位を四捨五入）であるため、合計は必ずしも100とは一致しない。

Q2 属性 性別 (n=106)		
	回答数	Percent
○ 1. 男性	16	15.1
○ 2. 女性	85	80.2
○ 3. 回答しない	5	4.7
	106	100

Q3 属性 年代 (n=106)		
	回答数	Percent
○ 1. 10代	12	11.3
○ 2. 20代	15	14.2
○ 3. 30代	14	13.2
○ 4. 40代	35	33.0
○ 5. 50代	24	22.6
○ 6. 60代以上	6	5.7
	106	100

Q4 属性 あなたの属性について教えてください。(n=106) ※「その他」と回答された方はその内容をご記入ください。		
	回答数	Percent
○ 1. 高校1年生	3	2.8
○ 2. 高校2年生	1	0.9
○ 3. 高校3年生	3	2.8
○ 4. 既卒受験生	1	0.9
○ 5. 高卒認定	3	2.8
○ 6. 留学生	0	0.0
○ 7. 大学生	4	3.8
○ 8. 大学院生	0	0.0
○ 9. 短大生	0	0.0
○ 10. 専門学校生	1	0.9
○ 11. 社会人	80	74.5
○ 12. その他	10	9.4
	106	99

Q5 属性 現在お住まいの都道府県を教えてください。(n=106)		
	回答数	Percent
○ 1. 北海道	0	0.0
○ 2. 青森県	1	0.9
○ 3. 岩手県	2	1.9
○ 4. 宮城県	1	0.9
○ 5. 秋田県	1	0.9
○ 6. 山形県	1	0.9
○ 7. 福島県	0	0.0
○ 8. 茨城県	0	0.0
○ 9. 栃木県	1	0.9
○ 10. 群馬県	1	0.9
○ 11. 埼玉県	5	4.7
○ 12. 千葉県	3	2.8
○ 13. 東京都	9	8.5
○ 14. 神奈川県	47	44.3
○ 15. 新潟県	2	1.9
○ 16. 富山県	0	0.0
○ 17. 石川県	0	0.0
○ 18. 福井県	1	0.9
○ 19. 山梨県	0	0.0
○ 20. 長野県	0	0.0
○ 21. 岐阜県	0	0.0
○ 22. 静岡県	3	2.8
○ 23. 愛知県	5	4.7
○ 24. 三重県	1	0.9
○ 25. 滋賀県	1	0.9
○ 26. 京都府	3	2.8
○ 27. 大阪府	4	3.8
○ 28. 兵庫県	3	2.8
○ 29. 奈良県	0	0.0
○ 30. 和歌山県	1	0.9

○ 31. 鳥取県	0	0.0
○ 32. 島根県	0	0.0
○ 33. 岡山県	0	0.0
○ 34. 広島県	0	0.0
○ 35. 山口県	0	0.0
○ 36. 徳島県	0	0.0
○ 37. 香川県	1	0.9
○ 38. 愛媛県	0	0.0
○ 39. 高知県	0	0.0
○ 40. 福岡県	1	0.9
○ 41. 佐賀県	0	0.0
○ 42. 長崎県	0	0.0
○ 43. 熊本県	1	0.9
○ 44. 大分県	0	0.0
○ 45. 宮崎県	3	2.8
○ 46. 鹿児島県	1	0.9
○ 47. 沖縄県	0	0.0
○ 47. その他の地域	3	2.8
	106	99

**Q6** 高校生の方は、高校卒業後の進路をどのように考えていますか。高校生以外の方は、今後、どのような学校に入学して学ぶことを検討していますか。以下の項目のうち、現在検討している（希望している）ものをすべて選択してください。（複数選択可）  
(n=106)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
□ 1. 短期大学（専門職短期大学を含む）	59	55.7
□ 2. 大学（専門職大学を含む）	42	39.6
□ 3. 専門学校	12	11.3
□ 4. 就職	11	10.4
□ 5. その他	36	34.0

**Q7** 前問で、大学・短期大学を選択した方は、私立、国立、公立のうち、どの大学・短期大学に入学したいと考えていますか。以下の項目のうち、現在検討している（希望している）ものをすべて選択してください。（複数選択可） (n=106)  
※大学・短期大学への入学を希望していない方は、「該当なし（大学・短期大学への入学を希望していない）」を選択してください。

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
□ 1. 私立	67	63.2
□ 2. 国立	23	21.7
□ 3. 公立	29	27.4
□ 4. 該当なし（大学・短期大学への入学を希望していない）	33	31.1

**Q8** 大学・短期大学・専門学校等で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。（複数選択可） (n=106)

※ここに記載した以外の学問分野を学びたい方は、「その他の学問分野」を選択してください。  
※大学・短期大学・専門学校等への入学を希望していない方は、「該当なし（大学・短期大学・専門学校等への入学を希望していない）」を選択してください。

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
□ 1. 初等教育	76	71.7
□ 2. 幼稚園教育	58	54.7
□ 3. 体育関係	12	11.3
□ 4. 美術関係	14	13.2
□ 5. 音楽関係	14	13.2
□ 6. 秘書関係	9	8.5
□ 7. その他の学問分野	24	22.6
□ 8. 該当なし（大学・短期大学・専門学校等への入学を希望していない）	3	2.8

#### （新設組織に関する説明）

ここからは、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置構想中）についての以下の説明を読んでからお答えください。アンケートの必須項目は、このページで終わりです。

##### ①設置の概要

名称：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course（仮称・設置構想中）

修業年限：2年

入学定員：300名（男女共学）

学位：短期大学士（教育学）

開設時期：2025（令和7）年4月

##### ②設置の理念、養成する人物像

子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成する。

##### ③設置場所（アクセス）

鎌倉女子大学 大船キャンパス 神奈川県鎌倉市大船6-1-3（JR・湘南モノレール「大船駅」下車、徒歩8分）

※多くの授業は通学不要で単位を取得することが可能です。

##### ④学生納付金（正科生）

授業料（年間）：230,000円、教育環境充実費（年間）：35,000円

- ⑤近隣（神奈川県・東京都）の類似する大学・短期大学の通信教育課程
- 小学校教諭免許状を取得可能な通信制大学  
（神奈川県）星槎大学 共生科学部 通信教育課程 初等教育専攻（4年制）  
（東京都）明星大学 教育学部教育学科 通信教育課程 小学校教員コース（4年制）

- 幼稚園教諭免許状を取得可能な通信制短期大学  
（神奈川県）小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 こども教育コース（2年制）こども保育コース（3年制）  
（東京都）帝京短期大学 こども教育学科 通信教育課程 こども教育専攻（3年制）

※上記の内容は、あくまで予定であり、今後変更になる可能性があります。

Q9 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseには、以下のような特長があります。それぞれの特長について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ1つだけ）（n=106）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	合計
Q9S1	1. 日本の短期大学の通信教育課程で初めて小学校教諭の免許状を取得できる	79	21	4	2	106
		74.5%	19.8%	3.8%	1.9%	100.0%
Q9S2	2. 最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる	89	14	1	2	106
		84.0%	13.2%	0.9%	1.9%	100.0%
Q9S3	3. 通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる	97	9	0	0	106
		91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	100.0%
Q9S4	4. オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる	88	16	1	1	106
		83.0%	15.1%	0.9%	0.9%	100.0%
Q9S5	5. 教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している	78	25	2	1	106
		73.6%	23.6%	1.9%	0.9%	100.0%
Q9S6	6. 一部の対面スクーリングを鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる	73	25	5	3	106
		68.9%	23.6%	4.7%	2.8%	100.0%
Q9S7	7. 子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる	78	25	1	2	106
		73.6%	23.6%	0.9%	1.9%	100.0%
Q9S8	8. 専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して免許・資格を取得する、ダブルスクール方式で学ぶことができる	54	37	8	7	106
		50.9%	34.9%	7.5%	6.6%	100.0%

Q10 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseで取得したい免許・資格を選択してください。（複数選択可）（n=106）

※課程認定申請予定。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 小学校教諭二種免許状（※）	77	72.6
<input type="checkbox"/> 2. 幼稚園教諭二種免許状（※）	72	67.9
<input type="checkbox"/> 3. 准学校心理士	43	40.6
<input type="checkbox"/> 4. 児童厚生二級指導員	20	18.9
<input type="checkbox"/> 5. 幼児体育指導員初級	14	13.2
<input type="checkbox"/> 6. レクリエーション・インストラクター	16	15.1
<input type="checkbox"/> 7. キャンプインストラクター	10	9.4
<input type="checkbox"/> 8. 秘書士	19	17.9
<input type="checkbox"/> 9. 免許・資格の取得は考えていない	3	2.8

Q11 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseが開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。（n=106）

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 第一志望として受験する	90	84.9
<input type="radio"/> 2. 第二志望として受験する	7	6.6
<input type="radio"/> 3. 第三志望以降として受験する	3	2.8
<input type="radio"/> 4. 受験しない	6	5.7
	106	100

Q12 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseを受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。（n=106）

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 入学する	92	86.8
<input type="radio"/> 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	9.4
<input type="radio"/> 3. 入学しない	4	3.8
	106	100

Q13 専門学校への進学を希望されている方にお聞きします。鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseでは、専門学校に通いながら在籍して免許・資格を取得するダブルスクール方式でも学ぶことができます。専門学校に進学した場合、同時に鎌倉女子大学初等教育学科e-learning courseへの入学を希望しますか。（n=106）

※専門学校への進学を希望していない方は、「専門学校への進学は考えていない」を選択してください。

	回答数	Percent
○ 1. 入学を希望する	22	20.8
○ 2. 入学を希望しない	3	2.8
○ 3. 専門学校への進学は考えていない	81	76.4
	106	100

## 調査3：本学在学学生調査

### 1. 調査概要

- 調査目的：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程のニーズ調査
- 対象者：本学在学学生（鎌倉女子大学短期大学部、鎌倉女子大学、鎌倉女子大学大学院の学生）
- 調査手法：学内ポータルサイトを通じたWeb調査
- 調査時期：令和5年10月
- 回収件数：228件
- 備考：Q12の回答歴を問う質問で「以前にも同じアンケートに回答したことがある」回答は除外。

### 2. 質問票と単純集計の結果

※構成比（%）は有効回答件数に対する構成比（小数第二位を四捨五入）であるため、合計は必ずしも100とは一致しない。

Q1 属性 所属学科（研究科・専攻科）を選択してください。（n=228）		
	回答数	Percent
○ 1. 家政学部 家政保健学科	25	11.0
○ 2. 家政学部 管理栄養学科	39	17.1
○ 3. 児童学部 児童学科	74	32.5
○ 4. 児童学部 子ども心理学科	23	10.1
○ 5. 教育学部 教育学科	41	18.0
○ 6. 短期大学部 初等教育学科	23	10.1
○ 7. 短期大学部 専攻科	2	0.9
○ 8. 大学院 児童学研究科	1	0.4
	228	100.1

Q2 属性 学年を選択してください。（n=228）		
	回答数	Percent
○ 1. 1年	60	26.3
○ 2. 2年	108	47.4
○ 3. 3年	26	11.4
○ 4. 4年	34	14.9
	228	100

Q3 属性 現在お住まいの都道府県を教えてください。（n=228）		
	回答数	Percent
○ 1. 北海道	0	0.0
○ 2. 青森県	0	0.0
○ 3. 岩手県	0	0.0
○ 4. 宮城県	0	0.0
○ 5. 秋田県	0	0.0
○ 6. 山形県	0	0.0
○ 7. 福島県	0	0.0
○ 8. 茨城県	1	0.4
○ 9. 栃木県	0	0.0
○ 10. 群馬県	0	0.0
○ 11. 埼玉県	0	0.0
○ 12. 千葉県	2	0.9
○ 13. 東京都	8	3.5
○ 14. 神奈川県	208	91.2
○ 15. 新潟県	1	0.4
○ 16. 富山県	0	0.0
○ 17. 石川県	0	0.0
○ 18. 福井県	0	0.0
○ 19. 山梨県	0	0.0
○ 20. 長野県	0	0.0
○ 21. 岐阜県	0	0.0
○ 22. 静岡県	8	3.5
○ 23. 愛知県	0	0.0
○ 24. 三重県	0	0.0
○ 25. 滋賀県	0	0.0
○ 26. 京都府	0	0.0
○ 27. 大阪府	0	0.0
○ 28. 兵庫県	0	0.0
○ 29. 奈良県	0	0.0
○ 30. 和歌山県	0	0.0
○ 31. 鳥取県	0	0.0
○ 32. 島根県	0	0.0
○ 33. 岡山県	0	0.0
○ 34. 広島県	0	0.0
○ 35. 山口県	0	0.0
○ 36. 徳島県	0	0.0
○ 37. 香川県	0	0.0
○ 38. 愛媛県	0	0.0
○ 39. 高知県	0	0.0
○ 40. 福岡県	0	0.0
○ 41. 佐賀県	0	0.0
○ 42. 長崎県	0	0.0
○ 43. 熊本県	0	0.0
○ 44. 大分県	0	0.0
○ 45. 宮崎県	0	0.0
○ 46. 鹿児島県	0	0.0

○ 47. 沖縄県	0	0.0
○ 47. その他の地域	0	0.0
	228	100

Q4 本学を卒業後、新たな学校に入学して学ぶことに関心がありますか。以下の項目のうち、入学することに関心があるものをすべて選択してください。（複数選択可）  
(n=228)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 短期大学（専門職短期大学を含む）	22	9.6
<input type="checkbox"/> 2. 大学（専門職大学を含む）	30	13.2
<input type="checkbox"/> 3. 専門学校	25	11.0
<input type="checkbox"/> 4. その他（短期大学・大学・専門学校以外）	21	9.2
<input type="checkbox"/> 5. 該当なし（新たな学校に入学して学ぶことは考えていない）	165	72.4

Q5 前問で、大学・短期大学を選択した方は、私立、国立、公立のうち、どの大学・短期大学に入学したいと考えていますか。以下の項目のうち、現在検討している（希望している）ものをすべて選択してください。（複数選択可） (n=228)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 私立	44	19.3
<input type="checkbox"/> 2. 国立	24	10.5
<input type="checkbox"/> 3. 公立	17	7.5
<input type="checkbox"/> 4. 該当なし（大学・短期大学への入学を希望していない）	177	77.6

Q6 大学・短期大学・専門学校等で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。（複数選択可） (n=228)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 初等教育	36	15.8
<input type="checkbox"/> 2. 幼稚園教育	33	14.5
<input type="checkbox"/> 3. 体育関係	12	5.3
<input type="checkbox"/> 4. 美術関係	13	5.7
<input type="checkbox"/> 5. 音楽関係	25	11.0
<input type="checkbox"/> 6. 秘書関係	17	7.5
<input type="checkbox"/> 7. その他の学問分野	38	16.7
<input type="checkbox"/> 8. 該当なし（大学・短期大学・専門学校等への入学を希望していない）	141	61.8

#### （新設組織に関する説明）

ここからは、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置構想中）についての以下の説明を読んでからお答えください。アンケートは、このページで終わりです。

##### ①設置の概要

名称：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course（仮称・設置構想中）  
 修業年限：2年  
 入学定員：300名（男女共学）  
 学位：短期大学士（教育学）  
 開設時期：2025（令和7）年4月

##### ②設置の理念、養成する人物像

子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成する。

##### ③取得可能な免許・資格

小学校教諭二種免許状（※）、幼稚園教諭二種免許状（※）、准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士  
 ※課程認定申請予定。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

##### ④設置場所（アクセス）

鎌倉女子大学 大船キャンパス 神奈川県鎌倉市大船6-1-3（JR・湘南モノレール「大船駅」下車、徒歩8分）  
 ※多くの授業は通学不要で単位を取得することが可能です。

##### ⑤学生納付金（正科生）

授業料（年間）：230,000円、教育環境充実費（年間）：35,000円  
 初年度入学金：30,000円

##### ⑥近隣（神奈川県・東京都）の類似する大学・短期大学の通信教育課程

■小学校教諭免許状を取得可能な通信制大学  
 （神奈川県）星槎大学 共生科学部 通信教育課程 初等教育専攻（4年制）  
 （東京都）明星大学 教育学部教育学科 通信教育課程 小学校教員コース（4年制）

##### ■幼稚園教諭免許状を取得可能な通信制短期大学

（神奈川県）小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 こども教育コース（2年制）こども保育コース（3年制）  
 （東京都）帝京短期大学 こども教育学科 通信教育課程 こども教育専攻（3年制）

※上記の内容は、あくまで予定であり、今後変更になる可能性があります。

Q7 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseには、以下のような特長があります。それぞれの特長について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ1つだけ） (n=228)

とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	合計
-----------	------------	------------	-----------	----

Q7S1	1. 日本の短期大学の通信教育課程で初めて小学校教諭の免許状を取得できる	128	78	15	7	228
		56.1%	34.2%	6.6%	3.1%	100.0%
Q7S2	2. 最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる	122	79	19	8	228
		53.5%	34.6%	8.3%	3.5%	100.0%
Q7S3	3. 通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる	178	42	4	4	228
		78.1%	18.4%	1.8%	1.8%	100.0%
Q7S4	4. オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる	149	58	15	6	228
		65.4%	25.4%	6.6%	2.6%	100.0%
Q7S5	5. 教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している	144	72	6	6	228
		63.2%	31.6%	2.6%	2.6%	100.0%
Q7S6	6. 一部の対面スクーリングを鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる	103	90	24	11	228
		45.2%	39.5%	10.5%	4.8%	100.0%
Q7S7	7. 子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる	116	91	13	8	228
		50.9%	39.9%	5.7%	3.5%	100.0%
Q7S8	8. 専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して免許・資格を取得する、ダブルスクール方式で学ぶことができる	135	71	13	9	228
		59.2%	31.1%	5.7%	3.9%	100.0%

Q8 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseで取得できる免許・資格として、魅力を感じるものを選択してください。(複数選択可) (n=228)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 小学校教諭二種免許状(※)	153	67.1
<input type="checkbox"/> 2. 幼稚園教諭二種免許状(※)	127	55.7
<input type="checkbox"/> 3. 准学校心理士	61	26.8
<input type="checkbox"/> 4. 児童厚生二級指導員	47	20.6
<input type="checkbox"/> 5. 幼児体育指導員初級	38	16.7
<input type="checkbox"/> 6. レクリエーション・インストラクター	42	18.4
<input type="checkbox"/> 7. キャンプインストラクター	31	13.6
<input type="checkbox"/> 8. 秘書士	56	24.6
<input type="checkbox"/> 9. 免許・資格の取得は考えていない	38	16.7

Q9 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseが開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。(n=228)

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 第一志望として受験する	31	13.6
<input type="radio"/> 2. 第二志望として受験する	11	4.8
<input type="radio"/> 3. 第三志望以降として受験する	14	6.1
<input type="radio"/> 4. 受験しない	172	75.4
	228	100

Q10 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseを受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。(n=228)

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 入学する	52	22.8
<input type="radio"/> 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	57	25.0
<input type="radio"/> 3. 入学しない	119	52.2
	228	100

Q11 本学を卒業後、専門学校で学ぶことに興味がある方にお聞きます。鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseでは、専門学校に通いながら在籍して免許・資格を取得するダブルスクール方式でも学ぶことができます。専門学校に進学した場合、同時に鎌倉女子大学初等教育学科e-learning courseへの入学を希望しますか。(n=228)

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 入学を希望する	13	21.3
<input type="radio"/> 2. 入学を希望しない	1	1.6
<input type="radio"/> 3. 専門学校への進学は考えていない	47	77.0
	61	100

メッセージ受信一覧

送信者	e-learning course設置準備室
メッセージ種別	大学からのお知らせ
タイトル	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course設置に係る在学生向けアンケート調査
本文	<p>在学生の皆さん</p> <p>鎌倉女子大学短期大学部では、2025(令和7)年度に、初等教育学科通信教育課程e-learning course(仮称・設置構想中)を新設する計画をしています。詳細は、添付のリーフレットに記載のとおりです。開設に向けての参考とさせていただくため、アンケートへのご協力をお願いいたします。なお、このアンケートは無記名式で、得られた情報は統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。</p> <p>鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course設置に係る在学生向けアンケート(フォーム)</p> <p><a href="https://forms.office.com/r/9QynGctRAz">https://forms.office.com/r/9QynGctRAz</a> 調査期間:2023年10月6日(金)~10月31日(火)</p> <p>※最新の情報につきましては、本学Webサイト内の特設ページ上に順次掲載予定です。関心をお持ちの方は、ぜひご覧ください。 【特設ページ】 <a href="https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning">https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning</a></p> <p>【問合せ先】 鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科e-learning course設置準備室 elc-info@kamakura-u.ac.jp</p>
URL	<a href="https://forms.office.com/r/9QynGctRAz">https://forms.office.com/r/9QynGctRAz</a>
添付ファイル	通信教育課程(仮称・設置構想中)リーフレット
掲示期間	2023/10/06(金) 17:00 ~ 2023/10/31(火) 23:59

## 調査4：本学卒業生調査

### 1. 調査概要

- 調査目的：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程のニーズ調査
- 対象者：本学在學生（鎌倉女子大学短期大学部、鎌倉女子大学、鎌倉女子大学大学院の卒業生）
- 調査手法：卒業生へのメール配信によるWeb調査
- 調査時期：令和5年10月～12月
- 回収件数：142件
- 備考：Q12の回答歴を問う質問で「以前にも同じアンケートに回答したことがある」回答は除外。

### 2. 質問票と単純集計の結果

※構成比（%）は有効回答件数に対する構成比（小数第二位を四捨五入）であるため、合計は必ずしも100とは一致しない。

Q1 属性 卒業（修了）した学科（研究科・専攻科）を選択してください。（n=142）		
	回答数	Percent
○ 1. 家政学部 家政保健学科	11	7.7
○ 2. 家政学部 管理栄養学科	14	9.9
○ 3. 児童学部 児童学科	35	24.6
○ 4. 児童学部 子ども心理学科	12	8.5
○ 5. 教育学部 教育学科	29	20.4
○ 6. 短期大学部 初等教育学科	34	23.9
○ 7. 短期大学部 専攻科	4	2.8
○ 8. 大学院 児童学研究科	2	1.4
○ 9. その他	1	0.7
	142	99.9

Q2 属性 あなたの年代を教えてください。（n=142）		
	回答数	Percent
○ 1. 10代	0	0.0
○ 2. 20代	140	98.6
○ 3. 30代	0	0.0
○ 4. 40代	1	0.7
○ 5. 50代	0	0.0
○ 6. 60代以上	1	0.7
	142	100

Q3 属性 現在お住まいの都道府県を教えてください。（n=142）		
	回答数	Percent
○ 1. 北海道	0	0.0
○ 2. 青森県	0	0.0
○ 3. 岩手県	0	0.0
○ 4. 宮城県	1	0.7
○ 5. 秋田県	0	0.0
○ 6. 山形県	0	0.0
○ 7. 福島県	1	0.7
○ 8. 茨城県	0	0.0
○ 9. 栃木県	2	1.4
○ 10. 群馬県	0	0.0
○ 11. 埼玉県	2	1.4
○ 12. 千葉県	3	2.1
○ 13. 東京都	9	6.3
○ 14. 神奈川県	112	78.9
○ 15. 新潟県	1	0.7
○ 16. 富山県	0	0.0
○ 17. 石川県	0	0.0
○ 18. 福井県	0	0.0
○ 19. 山梨県	1	0.7
○ 20. 長野県	0	0.0
○ 21. 岐阜県	0	0.0
○ 22. 静岡県	6	4.2
○ 23. 愛知県	1	0.7
○ 24. 三重県	0	0.0
○ 25. 滋賀県	0	0.0
○ 26. 京都府	0	0.0
○ 27. 大阪府	0	0.0
○ 28. 兵庫県	0	0.0
○ 29. 奈良県	0	0.0
○ 30. 和歌山県	0	0.0
○ 31. 鳥取県	0	0.0
○ 32. 島根県	0	0.0
○ 33. 岡山県	1	0.7
○ 34. 広島県	0	0.0
○ 35. 山口県	0	0.0
○ 36. 徳島県	0	0.0
○ 37. 香川県	0	0.0
○ 38. 愛媛県	0	0.0
○ 39. 高知県	1	0.7
○ 40. 福岡県	0	0.0
○ 41. 佐賀県	0	0.0
○ 42. 長崎県	0	0.0
○ 43. 熊本県	0	0.0

○ 44. 大分県	0	0.0
○ 45. 宮崎県	0	0.0
○ 46. 鹿児島県	0	0.0
○ 47. 沖縄県	1	0.7
○ 47. その他の地域	0	0.0
	142	100

Q4 あなたは、将来これらの資格を取得することに興味がありますか。興味のあるものを全て選んでください。(複数選択可) (n=142)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 小学校教諭二種免許状	9	6.3
<input type="checkbox"/> 2. 幼稚園教諭二種免許状	11	7.7
<input type="checkbox"/> 3. 准学校心理士	25	17.6
<input type="checkbox"/> 4. 児童厚生二級指導員	7	4.9
<input type="checkbox"/> 5. 幼児体育指導員初級	11	7.7
<input type="checkbox"/> 6. レクリエーション・インストラクター	21	14.8
<input type="checkbox"/> 7. キャンプインストラクター	11	7.7
<input type="checkbox"/> 8. 秘書士	20	14.1
<input type="checkbox"/> 9. 免許・資格の取得は考えていない	86	60.6

#### (新設組織に関する説明)

ここからは、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course (仮称・設置構想中) についての以下の説明を読んでからお答えください。

##### ①設置の概要

名称：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course (仮称・設置構想中)  
 修業年限：2年  
 入学定員：300名 (男女共学)  
 学位：短期大学士 (教育学)  
 開設時期：2025 (令和7) 年4月

##### ②設置の理念、養成する人物像

子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成する。

##### ③取得可能な免許・資格

小学校教諭二種免許状 (※)、幼稚園教諭二種免許状 (※)、准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士  
 ※課程認定申請予定。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

##### ④設置場所 (アクセス)

鎌倉女子大学 大船キャンパス 神奈川県鎌倉市大船6-1-3 (JR・湘南モノレール「大船駅」下車、徒歩8分)  
 ※多くの授業は通学不要で単位を取得することが可能です。

##### ⑤学生納付金 (正科生)

授業料 (年間)：230,000円、教育環境充実費 (年間)：35,000円  
 初年度入学金：30,000円

##### ⑥入学時期・選考方法

入学時期：4月、10月  
 選考方法：書類選考のうえ入学を許可します。

##### ⑦近隣 (神奈川県・東京都) の類似する大学・短期大学の通信教育課程

■小学校教諭免許状を取得可能な通信制大学  
 (神奈川県) 星槎大学 共生科学部 通信教育課程 初等教育専攻 (4年制)  
 (東京都) 明星大学 教育学部教育学科 通信教育課程 小学校教員コース (4年制)

##### ■幼稚園教諭免許状を取得可能な通信制短期大学

(神奈川県) 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 こども教育コース (2年制) こども保育コース (3年制)  
 (東京都) 帝京短期大学 こども教育学科 通信教育課程 こども教育専攻 (3年制)

※上記の内容は、あくまで予定であり、今後変更になる可能性があります。

Q5 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 e-learning course には、以下のような特長があります。それぞれの特長について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ1つだけ) (n=142)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	合計
Q5S1	1. 日本の短期大学の通信教育課程で初めて小学校教諭の免許状を取得できる	64	59	14	5	142
		45.1%	41.5%	9.9%	3.5%	100.0%
Q5S2	2. 最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる	68	51	16	7	142
		47.9%	35.9%	11.3%	4.9%	100.0%
Q5S3	3. 通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる	117	24	0	1	142
		82.4%	16.9%	0.0%	0.7%	100.0%
Q5S4	4. オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる	92	41	7	2	142
		64.8%	28.9%	4.9%	1.4%	100.0%
Q5S5	5. 教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している	85	47	7	3	142
		59.9%	33.1%	4.9%	2.1%	100.0%

Q5S6	6.	一部の対面スクーリングを鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる	65	58	13	6	142
			45.8%	40.8%	9.2%	4.2%	100.0%
Q5S7	7.	子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる	62	66	10	4	142
			43.7%	46.5%	7.0%	2.8%	100.0%
Q5S8	8.	専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して免許・資格を取得する、ダブルスクール方式で学ぶことができる	92	40	6	4	142
			64.8%	28.2%	4.2%	2.8%	100.0%

Q6 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseが開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。(n=142)

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 第一志望として受験する	14	9.9
<input type="radio"/> 2. 第二志望として受験する	8	5.6
<input type="radio"/> 3. 第三志望以降として受験する	7	4.9
<input type="radio"/> 4. 受験しない	113	79.6
	142	100

Q7 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseを受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。(n=142)

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 入学する	33	23.2
<input type="radio"/> 2. 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	35	24.6
<input type="radio"/> 3. 入学しない	74	52.1
	142	100

Q8 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseでは、他の専門学校に通いながら在籍して免許・資格を取得するダブルスクール方式でも学ぶことができます。専門学校に進学した場合、同時に鎌倉女子大学初等教育学科e-learning courseへの入学を希望しますか。(n=142)

	回答数	Percent
<input type="radio"/> 1. 入学を希望する	20	14.1
<input type="radio"/> 2. 入学を希望しない	23	16.2
<input type="radio"/> 3. 専門学校への進学は考えていない	99	69.7
	142	100

Q9 今後、新たな学校に入学して学ぶこと(リスキリング)に関心がありますか。以下の項目のうち、入学することに関心があるものをすべて選択してください。(複数選択可)(n=142)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 短期大学(専門職短期大学を含む)	26	18.3
<input type="checkbox"/> 2. 大学(専門職大学を含む)	36	25.4
<input type="checkbox"/> 3. 専門学校	19	13.4
<input type="checkbox"/> 4. その他	10	7.0
<input type="checkbox"/> 5. 該当なし(新たな学校に入学して学ぶことは考えていない)	78	54.9

Q10 前問で、大学・短期大学を選択した方は、私立、国立、公立のうち、どの大学・短期大学に入学したいと考えていますか。以下の項目のうち、現在検討している(希望している)ものをすべて選択してください。(複数選択可)(n=142)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 私立	42	29.6
<input type="checkbox"/> 2. 国立	29	20.4
<input type="checkbox"/> 3. 公立	21	14.8
<input type="checkbox"/> 4. 該当なし(大学・短期大学への入学を希望していない)	91	64.1

Q11 学・短期大学・専門学校等で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中からすべて選択してください。(複数選択可)(n=142)

	回答数(複数回答)	Percent (対回答者数)
<input type="checkbox"/> 1. 初等教育	24	16.9
<input type="checkbox"/> 2. 幼稚園教育	24	16.9
<input type="checkbox"/> 3. 体育関係	8	5.6
<input type="checkbox"/> 4. 美術関係	11	7.7
<input type="checkbox"/> 5. 音楽関係	9	6.3
<input type="checkbox"/> 6. 秘書関係	12	8.5
<input type="checkbox"/> 7. その他の学問分野	31	21.8
<input type="checkbox"/> 8. 該当なし(大学・短期大学・専門学校等への入学を希望していない)	69	48.6

件名	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course(仮称・設置構想中)アンケートご協力をお願い
本文	<p>卒業生の皆さま</p> <p>平素より本学の教育・研究活動へご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。  鎌倉女子大学短期大学部では、2025（令和7）年度に、初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置構想中）を新設する計画をしています。  詳細は、下記リンク先のリーフレットに記載のとおりです。</p> <p><a href="https://www2.kyujin-navi.com/gakugai/mail_img.asp?k=zbslu20v">https://www2.kyujin-navi.com/gakugai/mail_img.asp?k=zbslu20v</a>  &lt;※有効期間は1ヶ月間です。&gt;</p> <p>開設に向けての参考とさせていただくため、卒業生の皆さまを対象としたアンケートへのご協力をお願いいたします。  なお、このアンケートで得られた情報は統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。</p> <p><b>【アンケート回答方法】</b>  以下のURLからアンケートフォームにアクセスし、回答を送信してください。アンケートの回答所要時間は3分程度です。  <a href="https://forms.office.com/r/639JneDvYQ">https://forms.office.com/r/639JneDvYQ</a></p> <p><b>【回答期限】</b>  2023年11月19日（日）</p> <p>最新の情報につきましては、本学Webサイト内の特設ページ上に順次掲載予定です。関心をお持ちの方は、ぜひご覧ください。</p> <p><b>【特設ページ】</b>  <a href="https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning">https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning</a>  ※設置計画は予定であり、内容を変更することがあります。</p>
署名	<p><b>【問合せ先】</b>  鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning course設置準備室  〒247-8512神奈川県鎌倉市大船六丁目1番3号  MAIL : elc-info@kamakura-u.ac.jp  TEL : 0467-44-2111（代表）</p>

**e-learning** で学ぼう！

—自分のキャリアを自分らしさで切り拓く—



鎌倉女子大学短期大学部 初等教育学科 通信教育課程

男女共学

# e-learning course

(仮称・設置構想中)

2025年4月開設予定

鎌倉女子大学 e-learning center

■ ■ ■ 取得可能な学位、免許・資格 ■ ■ ■

学 位	短期大学士（教育学）	
教員免許状	小学校教諭二種免許状 幼稚園教諭二種免許状	
資 格	准学校心理士 幼児体育指導員初級 キャンプインストラクター	児童厚生二級指導員 レクリエーション・インストラクター 秘書士

※課程認定申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。



鎌倉女子大学短期大学部

## ご案内

古来、パンデミックがその後の文明の様相を大きく変えていったことは、歴史が教えるところです。

この度のCOVID-19 pandemicは、私たちのコミュニケーションの形式に大きな変革をもたらしました。

政府や自治体でも、企業や機構でも、そして教育の場でも、オンラインでの情報交換は常態化し、その有効性を誰もが体験することになりました。

鎌倉女子大学は、このツールを活用し、e-learning centerを設置し、2025年4月開設を目途に、文部科学省に本学短期大学部初等教育学科に2年課程のe-learning courseを申請することを計画しています。

このコースでは、所定の課程を修了すれば、表紙記載の通りの学位、免許・資格を取得することができます。

また、科目等履修生として、個別に免許・資格を取得することもできます。

皆さまにおかれましては、ふるって当コースをご活用くださいますよう、ご案内申し上げます。

2023年7月

学長 福井一光



**鎌倉女子大学は2025年4月、日本初の小学校教諭免許が取得できる通信制短期大学として、「短期大学部初等教育学科 e-learning course」（男女共学）を開設します。（仮称・設置構想中）**

### ■ 開設の理念

子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成します。

私たちが獲得したオンラインでのコミュニケーションの形式は、単に情報交換という伝達機能にとどまらず、オンデマンドにおいて授業内容をそのまま蓄積することを可能とし、これを自ら拾い集めた多様な情報と関係づけながら、新しい知見の創出につなげる創造機能を生み出し始めています。AIツールの開発は、今後この機能をますます推し進めていくことでしょう。

子どもを取り巻く環境は、時々刻々変化しています。この新しい時代を生き抜く子どもを力強く育み、導くためには、いろいろな場面でさまざまな経験を積んだ広い視野を持つ教育者が求められています。このe-learning courseは、これまで培った自分のキャリアを更に自分らしさで切り拓く有意な人材の育成を目指します。

### ■ 開設の概要

名称	初等教育学科 e-learning course（仮称）
修業年限	2年
入学定員	300名（男女共学）
開設時期	2025（令和7）年4月

## 実学教育80年の歴史と実績

鎌倉女子大学短期大学部は、日本で最初の短期大学の一つとして開設されて以来、乳幼児期から児童期までの子どもの教育・保育に携わる専門家を養成し、歴史と実績を重ねてきました。

小学校教諭・幼稚園教諭として社会で活躍する多くの卒業生を輩出しています。

こうした歴史と実績を踏まえた魅力ある授業を、e-learningで展開します。

また、これまでのノウハウを生かした本学オリジナルテキストとWeb動画教材で、e-learningでの学修をサポートします。



## 実践的な授業、充実のスクーリング

小学校や幼稚園等において実務経験のある教員による、社会で役立つ実践的な授業を展開します。

一部の科目で実施する対面スクーリングは、鎌倉女子大学大船キャンパスで実施するため、充実した施設・設備で、教員によるきめ細かな指導が受けられます。

## ペーパーティーチャーの 学び直し（リスキリング）に

教員免許を有しながら、教職経験がない、または長期離職をしているペーパーティーチャーにとって、就業のための自信をつけ、専門性を磨く学び直し（リスキリング）の機会となります。

## e-learning courseの特長

### e-learningで、 いつでも・どこでも学べる

Web動画教材によるオンデマンド学修が中心となるため、受講者の生活スタイルに合わせて学べます。

レポートの提出や小テスト、教員への質問もWeb上で行えますので、時間や場所にとらわれず、自分のペースで学ぶことができます。

### 2年間で複数の免許・資格が取得可能

小学校教諭二種免許状・幼稚園教諭二種免許状の他、准学校心理士、児童厚生二級指導員、レクリエーション・インストラクターなど、子どもの教育に関わる免許・資格を2年間で取得することが可能です。

科目等履修生として、必要な科目のみを履修することもできます。

## ■ 入学区分(男女共学)

正科生	短期大学卒業と同時に免許・資格取得を目指す方 学位（短期大学士）の取得を目指す方
科目等履修生	教員免許状取得のため、必要な科目のみ学びたい方（学外実習、介護等体験は正科生のみ対象） 関心のある科目を、1科目から自分のペースで学びたい方

## ■ 学修の流れ

### 履修登録

開講期（春・秋）ごとに、受講科目の履修登録を行います。

### 授業の受講

Web授業支援システム上で配信される授業動画を見ながら、学修を進めます。  
動画は開講期間内であれば、何度でも繰り返し視聴できます。  
教員への質問や学生同士の交流の場として、授業支援システムを活用します。

### レポート提出・小テスト

授業の理解度を測るためのレポートの提出・小テストの受験もWeb授業支援システム上で行います。  
受付期間内であれば、いつでも提出・受験が可能です。

### 単位修得

授業動画の視聴状況や、レポート・小テストにより成績評価を行います。  
評価の結果、合格することで、その科目の単位修得となります。

※ 講義形式はオンデマンド配信を基本としますが、一部の科目で対面スクーリング、Webリアルタイムスクーリングを実施する予定です。

## ■ 学外実習

取得する免許・資格によっては、学校や施設など、学外での実習が必要となります。

学外実習は2年次に実施します（免許・資格により、実習の期間や条件が異なります）。

教員免許状取得のための教育実習に際しては、対面スクーリングによる事前指導を実施します。

## ■ 学修サポート

### ■ オンライン・ピアツア

学生と教職員がオンラインで情報共有できる場を設け、学修のサポートを行うとともに、学生生活を充実させる交流の広場を提供します。

### ■ 学修ヘルプデスク

Web授業支援システムの使い方などで困ったことがあれば、専門スタッフがサポートします。  
オンラインフォームで質問を随時受け付けます。

### ■ 鎌倉女子大学図書館の利用

e-learning courseの学生は、スクーリングの際、鎌倉女子大学大船キャンパスの図書館が利用できます。  
学外からアクセスできる電子ジャーナル・電子ブックも充実しており、遠隔地の方の学修もサポートします。

## ■ キャリアサポート

- 多くの小学校教諭・幼稚園教諭を輩出してきた実績を生かし、e-learning courseの学生を対象とした教員採用試験対策講座のオンデマンド配信や、幼稚園就職希望者向けのガイダンスの実施など、希望する進路に応じたキャリアサポート体制を整えています。

## ■ 学生納付金

### ■ 正科生

科目	初年度	2年次
入学金	30,000円	—
授業料（年間）	230,000円	230,000円
教育環境充実費（年間）	35,000円	35,000円
計	<b>295,000円</b>	<b>265,000円</b>

### ■ 科目等履修生

1単位：20,000円

資格課程履修費：1資格につき20,000円

教材費等：別途実費負担

資格課程履修費：1資格につき20,000円

教材費等：別途実費負担

スクーリング受講料：授業料（年間）に含む

同窓会費：6,000円

※ 授業料、教育環境充実費は1年間を2期に分けて納入していただきます。

## ■ 入学までのスケジュール

- 入学時期：4月、10月

- 選考方法：書類選考のうえ入学を許可します。

- 出願期間：4月入学生 12月～4月（予定） / 10月入学生 7月～10月（予定）

※ 2024年度以降、入学説明会をオンラインで開催予定です。

## ■ 科目一覧

総合教育科目					
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
子ども総合教育講座	2	数と統計	2	情報リテラシー	小 幼 2
鎌倉の歴史・文化	2	日本語表現	2	プレゼンテーション	1
日本国憲法	小 幼 2	キャリアデザイン	2	英語	小 幼 2
経済のしくみ	2	健康・スポーツ科学	小 幼 2	英語コミュニケーション	小 幼 2
生活と環境	2	スポーツ実技	1		

専門教育科目					
授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
国語（書写を含む）	小 2	レクリエーション理論	2	子どもと人間関係	幼 1
社会	小 2	レクリエーション実技①	1	子どもと環境	幼 1
算数	小 2	レクリエーション実技②	1	子どもと言葉	幼 1
理科	小 2	レクリエーション実習（学外）	1	子どもと表現（音楽）	幼 1
生活	小 2	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2	子どもと表現（造形）	幼 1
音楽	小 2	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法	2	保育内容総論	幼 2
図画工作	小 2	児童館実習	2	保育内容演習健康	幼 2
家庭	小 2	秘書学概論	2	保育内容演習人間関係	幼 2
体育	小 2	秘書実務	2	保育内容演習環境	幼 2
小学校英語	小 2	教職概論（同和教育を含む）	小 幼 2	保育内容演習言葉	幼 2
国語科教育法	小 2	教育原理	小 幼 2	保育内容演習表現	幼 2
社会科教育法	小 2	教育心理学	小 幼 2	教育方法・技術	小 幼 2
算数科教育法	小 2	発達心理学	小 幼 2	児童指導	小 2
理科教育法	小 2	教育制度	小 幼 2	幼児指導	幼 2
生活科教育法	小 2	特別支援教育	小 幼 1	教育相談	小 幼 2
音楽科教育法	小 2	カリキュラム論Ⅰ	幼 2	教育実習指導	小 幼 1
図画工作科教育法	小 2	カリキュラム論Ⅱ	小 2	教育実習	小 幼 4
家庭科教育法	小 2	道德教育の理論と方法	小 2	教職実践演習（幼・小）	小 幼 2
体育科教育法	小 2	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	小 2	幼児の運動指導	2
小学校英語教育法	小 2	子どもと健康	幼 1	キャンプと自然体験	2

小 … 小学校教諭関連科目    幼 … 幼稚園教諭関連科目

## ■ 併修制度（提携専門学校募集）

併修制度とは、学生が専門学校に在籍しながら、短期大学部にも入学し、学位（短期大学士）と免許・資格の取得を目指す制度です。

e-learning courseでは、Web動画教材によるオンデマンド学修を中心としているため、専門学校の授業と両立しやすい学び方をご提案します。

併修制度の導入にあたっては、各専門学校様のご要望を個別にお伺いした上で詳細を決定しますので、お気軽にお問い合わせください。

## 多様な学びのニーズに対応した e-learning course

居住地が遠方のため、通学はせず、完全オンラインで短期大学を卒業したい。

実習や対面スクーリングを必須とする免許・資格を取得しない場合は、通学不要で卒業できます。

学費面での負担をできるだけ抑えて学びたい。

正科生の場合、通学課程に比べて3分の1以下の学費で学ぶことができます。  
1年間の学費は2期に分けて納入するため、1回の支払金額も抑えられます。

できるだけ短い期間で、教員免許を取得したい。

2年間で小学校教諭二種・幼稚園教諭二種免許状を卒業と同時に取得できるカリキュラムを編成しています。

既に教員免許を保有しているが、他校種の教員免許も取得したい。

既に教員免許を保有されている方は、科目等履修生として必要な科目のみを履修することで小学校・幼稚園の教員免許状を取得することもできます。詳しくはお問い合わせください。

現在他業種で働いているが、将来教職についてみたい。

働きながら自分のペースで学べるため、他業種から教員へのキャリアチェンジを考えている方にもおすすめです。

子どもの教育について、体系的に自分のペースで学びたい。

2年間のカリキュラムで学ぶ正科生と、必要な科目のみ学ぶ科目等履修生の2つの入学スタイルがあり、学びたい内容やご自身のライフサイクルに合わせて学修できます。正科生として2年を超えて在学することもできます。





【資料12】

希望入学年度を把握するための質問項目を設けた追加的な調査（令和6（2024）年6月実施）調査票

種別	設問形式	設問番号 /カテゴリ値	設問文/選択肢・質問
<b>【スクリーニング調査】 アンケート名：ご自身に関するアンケート</b>			
※回答者の基本属性（性別、年齢、居住地、世帯年収、職業等）は、事前に調査会社において把握。			
	SA	S-Q1	あなたは、リスキリング（新しい知識やスキルを学びなおすこと）に関心がありますか。
		1	関心がある
		2	やや関心がある
		3	あまり関心はない
		4	関心はない
	MA	S-Q2	あなたは、以下のような免許状の取得に関心はありますか。関心のあるもの全て選択をしてください。
		1	小学校教諭二種免許状
		2	幼稚園教諭二種免許状
		3	准学校心理士
		4	児童厚生二級指導員
		5	幼児体育指導員初級
		6	レクリエーション・インストラクター
		7	キャンプインストラクター
		8	秘書士
		9	その他の免許状（TEXT回答）
		10	あてはまるものはない（免許状の取得に関心がない）
	MA	S-Q3	あなたが今後、リスキリングに際して学びたいと考えている学問分野を次の中からすべて選択してください。
		1	初等教育
		2	幼稚園教育
		3	体育
		4	美術
		5	音楽
		6	秘書
		7	その他の学問分野（TEXT回答）
	SA	S-Q4	あなたの最終学歴をお答えください。
		1	中学校
		2	高等学校
		3	専門学校・高等専門学校
		4	短期大学
		5	大学
		6	大学院
		7	その他
	SA	S-Q5	あなたは、以前に「鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置認可申請中）に関するアンケート」を聞いたことがあり、回答をしたことがありますか。
		1	聞いたことがない
		2	聞いたことはあるが、回答をしたことがない
		3	聞いたことがあり、自身で回答をしたことがある
<b>【本調査】 アンケート名：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置認可申請中）に関するアンケート</b>			
	SA	Q1	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置認可申請中）についての以下の説明を読んでからお答えください。下記の説明を確認されましたら、「確認しました」にチェックの上、次の設問に進んでください。
			<p>(1)設置の概要            名称：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course（仮称・設置認可申請中）            修業年限：2年            入学定員：300名（男女共学）            学位：短期大学士（教育学）            開設時期：2025（令和7）年4月</p> <p>(2)設置の理念、養成する人物像            子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成する。</p> <p>(3)取得可能な免許・資格            小学校教諭二種免許状（※）、幼稚園教諭二種免許状（※）、准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士            ※課程認定申請中。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。</p> <p>(4)アドミッションポリシー            初等教育学科 通信教育課程は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、以下のような修学意欲のある学生を求める。            1.高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。            2.ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。            3.幼児期及び児童期に関心があり、教育・保育に関する諸問題を探究できる人。            4.多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。            5.人とかかわることが好きで、幼稚園・小学校の教員として、または教育・保育関連企業等において活躍しようとする明確な目的意識があり、その実現に向かってひたむきな努力を惜みず、最後までやり遂げ、主体的に社会に貢献する意欲のある人。</p>

		<p>(5)設置場所 (アクセス)  鎌倉女子大学 大船キャンパス 神奈川県鎌倉市大船6-1-3 (JR・湘南モノレール「大船駅」下車、徒歩8分)  ※多くの授業は通学不要で単位を取得することが可能です。</p> <p>(6)学生納付金 (正科生)  授業料 (年間) : 230,000円、教育環境充実費 (年間) : 35,000円  初年度入学金 : 30,000円</p> <p>(7)近隣 (神奈川県・東京都) の類似する大学・短期大学の通信教育課程  ■ 小学校教諭免許状を取得可能な通信制大学  (神奈川県) 星槎大学 共生科学部 通信教育課程 初等教育専攻 (4年制)  (東京都) 東京未来大学 こども心理学部 (通信教育課程) (4年制)</p> <p>■ 幼稚園教諭免許状を取得可能な通信制短期大学  (神奈川県) 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 こども教育コース (2年制) こども保育コース (3年制)  (福岡県) 近畿大学九州短期大学 通信教育部 保育科 (2年制)</p> <p>※設置認可申請中のため、上記の内容はあくまで予定であり、今後変更になる可能性があります。  より詳細な情報をお知りになりたい方は鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning courseのホームページをご覧ください。</p>
		1 確認しました
SA-MT	Q2	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseには、以下のような特長があります。それぞれの特長について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ1つだけ)
	<表側>	
	1	日本の短期大学の通信教育課程で初めて、小学校教諭の免許状を取得できる
	2	最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる
	3	通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる
	4	オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる
	5	教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している
	6	一部の対面スクーリングを、鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる
	7	子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる
	8	他の専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して、免許・資格を取得するダブルスクール方式で学ぶことができる
	<表頭>	
	1	とても魅力を感じる
	2	ある程度魅力を感じる
	3	あまり魅力を感じない
	4	全く魅力を感じない
SA	Q3	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseが開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。
	1	第一志望として受験する
	2	第二志望として受験する
	3	第三志望として受験する
	4	受験しない
SA	Q4	鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseを受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。
	1	入学する
	2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
	3	入学しない
SA	Q5	前問で「入学する」、または、「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した方にお聞きます。あなたは、開設年度に入学することを検討しますか。
	1	はい
	2	いいえ
SA	Q6	開設年度 (2025年度) の入学を検討されていない方は、何年度に入学することを検討していますか。
	1	2026年度
	2	2027年度
	3	2028年度
	4	2029年度
	5	2030年度以降
MA	Q7	リスキングに関心がある場合、どのような手段での学習を考えていますか。
	1	短期大学への入学
	2	大学への入学
	3	専門職大学への入学
	4	専門職短期大学への入学
	5	専門学校への入学
	6	その他の学校への入学
	7	学校に入学する以外の方法 (市販のテキストを利用した自習など)
	8	その他 (TEXT回答)
MA	Q8	前問で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」を選択した方へお伺いします。入学を検討している学校の設置者の希望を選択してください。
	1	私立
	2	国立
	3	公立
TEXTBOX	Q9	高校をご卒業された方にお聞きます。ご卒業された高校名を教えてください。※任意回答
	1	ご卒業された高校名(TEXT回答)
		END

**【資料13】「人材需要に関するアンケート調査」添付資料一覧**

調査	添付資料
・ [小学校教員人材] 教育委員会対象聞き取り調査	・ 聞き取り調査（ヒアリング調査）依頼内容
・ [幼稚園教員人材] 私立幼稚園・認定こども園対象アンケート調査	・ 調査結果 ・ アンケート依頼内容、アンケート画面

(教育委員会名・担当部局)  
採用ご担当者 様

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程 (e-learning course)  
(仮称・設置認可申請中) 採用に関するヒアリング調査について (ご協力をお願い)

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

鎌倉女子大学短期大学部では、2025 (令和 7) 年度に、初等教育学科通信教育課程 (e-learning course) (仮称・設置認可申請中) を新設する計画をしております。本通信教育課程では、通信制短期大学としては日本初となる小学校教諭の養成課程を開設し、2 年間で小学校教諭二種免許状を取得できることが特色です。

本通信教育課程で養成する人材 (小学校教諭) について、採用ご担当者のご意見をお伺いし、開設に向けての参考とさせていただくため、ヒアリング調査へのご協力をお願いいたします。

なお本調査で得られた情報は匿名処理を行いますので、貴機関及び回答者に関わる情報が公表されることはございません。ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

---

#### ヒアリング調査

##### ■依頼事項

採用ご担当者様から、主に下記のような内容をヒアリングさせていただきたいと存じます。10 分程度お時間を頂戴できれば幸いです。本通信教育課程の詳細情報を記載したリーフレットを同封いたしますので、そちらをご覧ください、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

##### [ヒアリング項目]

- 1) 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程の卒業生に対する採用意欲について
- 2) 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程の社会人経験を持つ卒業生 (既卒者) に対する採用意欲について
- 3) 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程に期待すること (あれば) について

##### ■調査期間

2024 年 6 月 13 日 (木) ~6 月 21 日 (金) に調査を予定しております。ご都合のよろしい日時をご指示願えましたら幸いです。出来ましたら、直接ご訪問をさせていただければありがたく存じますが、ご事情に応じてオンライン会議やお電話でも対応可能です。

##### ■問い合わせ先

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 e-learning course 設置準備室  
〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船 6-1-3  
TEL : 0467-44-2111 (代表) MAIL : [elc-info@kamakura-u.ac.jp](mailto:elc-info@kamakura-u.ac.jp)

通信教育課程 Web サイト



※本通信教育課程の最新情報は Web サイト (<https://e-learning.kamakura-u.ac.jp/>) にて公開しております。

※設置計画は予定であり、内容を変更することがあります。

## 【資料13】人材需要に関するアンケート調査に関する資料

私立幼稚園・認定こども園対象「鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程（仮称・設置構想中）」に関するアンケート調査」結果

### ■調査の概要

本通信教育課程で養成する幼稚園教諭人材の需要を把握するため、本学周辺地域（神奈川県鎌倉市、横浜市、川崎市）の私立幼稚園・認定こども園の採用担当者を対象とした「鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程（仮称・設置構想中）」に関するアンケート調査」を実施した。

調査名称	「鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程（仮称・設置構想中）」に関するアンケート調査」
調査期間	令和5年11月～1月
調査対象	神奈川県鎌倉市、横浜市、川崎市の私立幼稚園・認定こども園の採用担当者（送付件数404件）
調査手法	調査依頼郵送、Webフォーム回答
調査内容	質問数10問。採用したい人材像、本通信教育課程に魅力を感じるか、本通信教育課程養成人材の採用意向等を尋ねた。（Q10は自由記述のため集計対象外）
有効回答件数	77件（配付件数404件／回収率19.1%）

### ■全質問項目の集計結果

設問項目ごとの集計結果は以下のとおりである。なお、構成比（%）は有効回答件数77件に対する構成比（小数第二位を四捨五入）であるため、合計は必ずしも100.0%とは一致しない。

Q1. 貴園の種類を選択してください。

選択項目	回答数	構成比
幼稚園	57	74.0%
幼保連携型認定こども園	11	14.3%
その他	9	11.7%

※その他9件は、すべて「幼稚園連携型認定こども園」と回答

Q2. 貴園が所在する都道府県を選択してください。

選択項目	回答数	構成比
神奈川県	77	100.0%

Q3. 貴園の過去3か年の平均的な職員の採用数を選択してください。

選択項目	回答数	構成比
0名	2	2.6%
1名	26	33.8%
2名	27	35.1%
3名	15	19.5%
4名	4	5.2%
5名	2	2.6%
6名以上	1	1.3%

Q4. 貴園の採用予定数を選択してください。

選択項目	回答数	構成比
昨年度より増やす	20	26.0%
昨年度並み	31	40.3%
昨年度より減らす	5	6.5%
未定	7	9.1%
採用予定なし	14	18.2%
見送り（中止）	0	0.0%

Q5. 貴園では、どの学校を卒業・修了した人物を採用したいとお考えですか。以下の項目のうち、該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

選択項目	回答数	構成比
短期大学	70	90.9%
大学	72	93.5%
大学院	17	22.1%
専門学校	56	72.7%
その他	2	2.6%

Q6. 貴園では、どのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。以下の項目のうち、該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

選択項目	回答数	構成比
初等教育	19	24.7%
幼稚園関係	72	93.5%
体育関係	10	13.0%
美術関係	10	13.0%
音楽関係	12	15.6%

その他の学問分野	5	6.5%
特になし	4	5.2%

Q7. 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 e-learning course には、以下のような特長があります。それぞれの特長について、貴園にとって、どの程度魅力を感じますか。（それぞれ1つだけ）

	回答数(構成比)			
	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
日本の短期大学の通信教育課程で初めて小学校教諭の免許状を取得できる	33(42.9%)	33(42.9%)	10(13.0%)	1(1.3%)
最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる	39(50.6%)	33(42.9%)	4(5.2%)	1(1.3%)
通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる	52(67.5%)	22(28.6%)	3(3.9%)	0(0.0%)
オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる	35(45.5%)	34(44.2%)	8(10.4%)	0(0.0%)
教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している	34(44.2%)	35(45.5%)	7(9.1%)	1(1.3%)
一部の対面スクーリングを鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる	37(48.1%)	35(45.5%)	5(6.5%)	0(0.0%)
子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる	41(53.2%)	34(44.2%)	2(2.6%)	0(0.0%)
専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して免許・資格を取得する、ダブルスクール方式で学ぶことができる	42(54.5%)	28(36.4%)	7(9.1%)	0(0.0%)

Q8. 貴園では、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程 e-learning course（通信教育課程）（仮称）を卒業した学生を採用したいと思いますか。（1つ選択）

選択項目	回答数	構成比
採用したいと思う	32	41.6%
採用を検討したい	42	54.5%
採用したいと思わない	3	3.9%

Q9. Q8 で「採用したいと思う」「採用を検討したい」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。（1つ選択）

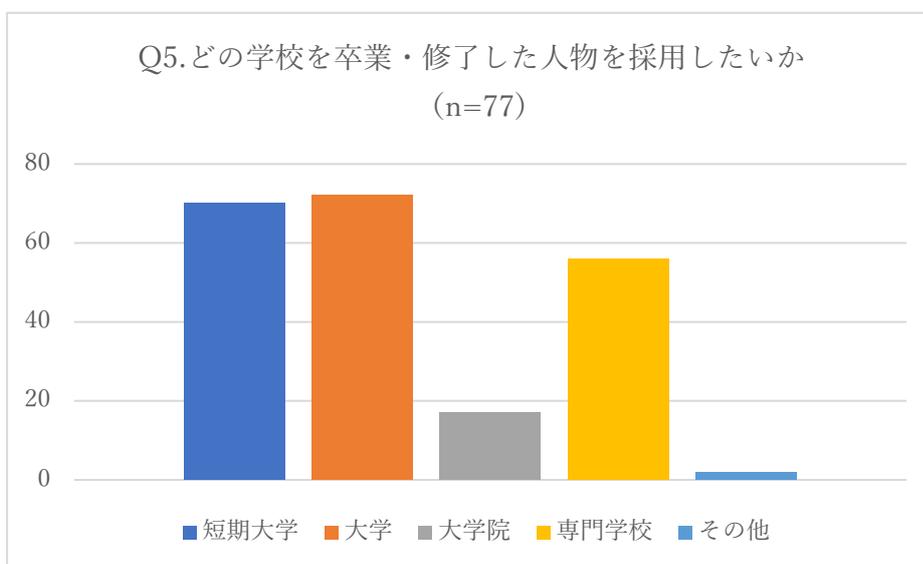
選択項目	回答数	構成比
1名	33	42.9%
2名	16	20.8%
3～5名	4	5.2%

6～9名	0	0.0%
10名以上	1	1.3%
未定	23	29.9%

## ■集計結果のポイント

### ○短期大学卒人材への高い採用意欲

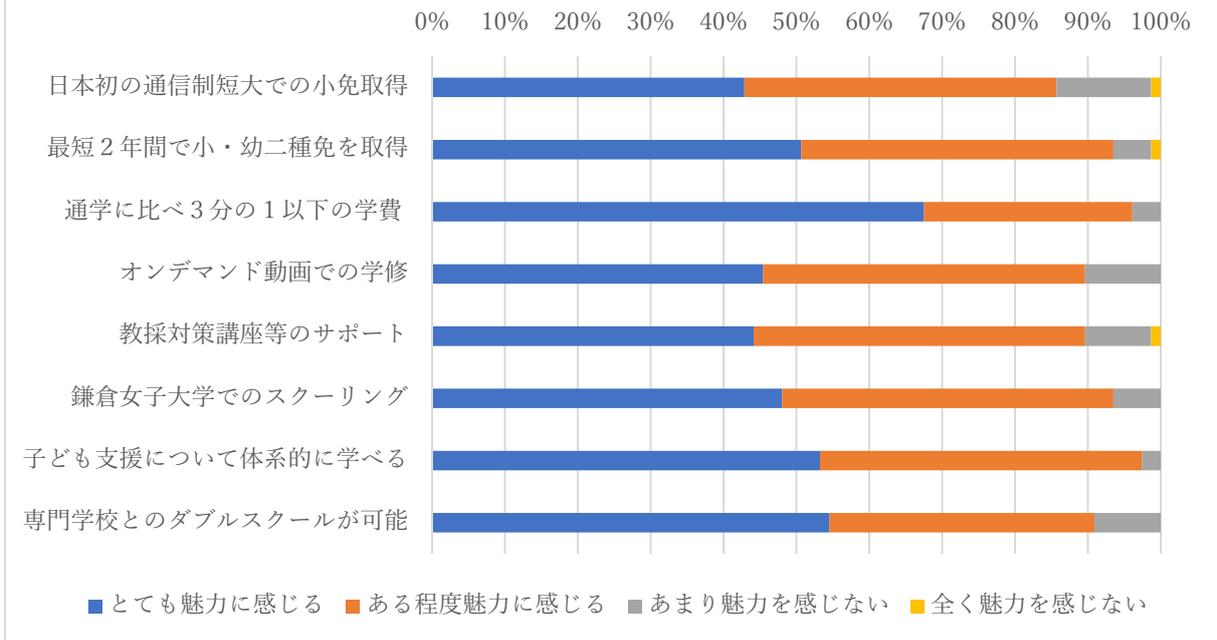
Q5. どの学校を卒業・修了した人物を採用したいかという質問において、短期大学を卒業した人材を採用したいという回答は、70件（90.9%）であり、短大学卒人材に対する高い採用意欲が示された。



### ○本通信教育課程への高い期待

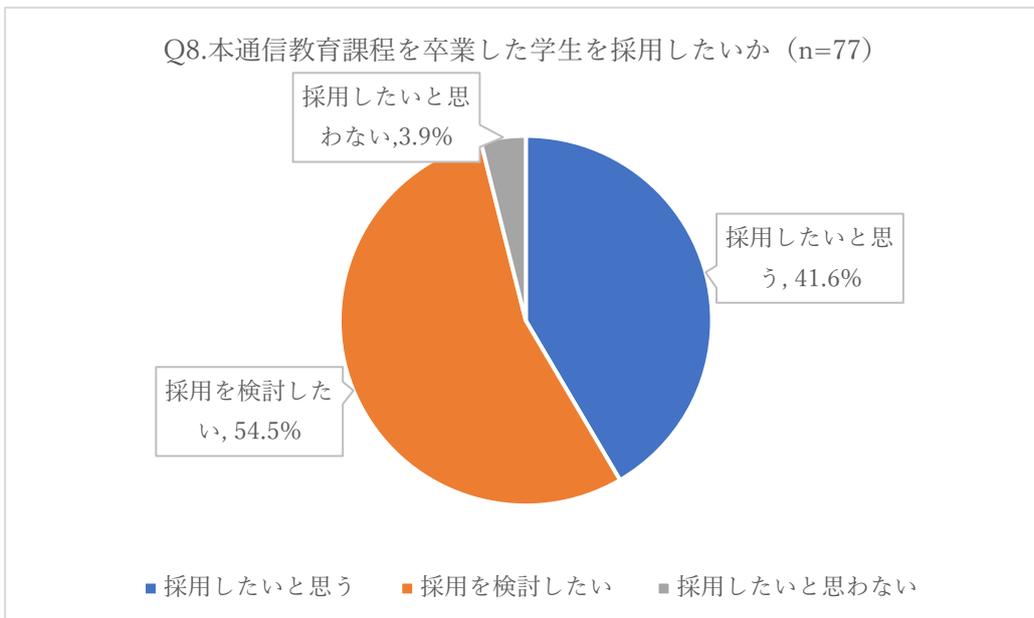
Q7. 本通信教育課程の特長に魅力を感じるかを問う質問では、全ての項目で高い評価が得られた。「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」を合わせた回答の数値が特に高かったものは、「子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる」が75件（97.4%）、「通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる」が74件（96.1%）、「最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる」と「一部の対面スクーリングを鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる」が72件（93.5%）であった。既設組織の人材養成実績をふまえ、本通信教育課程で展開する教育内容についても高い期待が寄せられていることが分かった。

Q7.本通信教育課程の特長に魅力を感じるか (n=77)



### ○養成する人材への高い採用意欲

Q8. 本通信教育課程の人材の採用意欲を問う質問では、「採用したいと思う」が 32 件 (41.6%)、「採用を検討したい」が 43 件 (54.5%) と、計 74 件 (96.1%) の幼稚園・認定こども園から採用意欲が示された。



2023年11月吉日

(園名)  
採用ご担当者様

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科  
e-learning course 設置準備室

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程 e-learning course (仮称・設置構想中)  
採用に関するアンケートご協力をお願い

平素より、本学学生の就職につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、鎌倉女子大学短期大学部では、2025年4月に初等教育学科 通信教育課程 e-learning course (男女共学) (仮称・設置構想中) の開設をめざし、文部科学省に設置認可申請を行うことを計画しています。本コースは、オンラインを活用した新しい学びのスタイルを導入し、2年間のカリキュラムで幼稚園教諭・小学校教諭二種免許状他が取得できるコースとなります。

つきましては、採用ご担当者の皆さまからのご意見をお伺いし、開設に向けての参考とさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、貴園のプライバシーに関わる情報が公表されることはございません。また、特設ホームページには順次最新の情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

<p><b>■採用に関するアンケート Web フォーム</b> <a href="https://forms.office.com/r/9ybXRup4Yh">https://forms.office.com/r/9ybXRup4Yh</a> 別添のリーフレットをお読みいただき、ご回答ください。 アンケートの回答所要時間は3分程度です。 ご回答期限：2023年12月15日(金)</p>	<p>採用に関するアンケート Webフォーム</p> 
<p><b>■e-learning course 特設ホームページ</b> <a href="https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning/">https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning/</a> e-learning courseの最新情報を掲載しております。 リーフレットのPDFデータをダウンロードいただけます。</p>	<p>e-learning course 特設ホームページ</p> 

※設置計画は予定であり、内容を変更することがあります。

**【問い合わせ先】**

鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 e-learning course 設置準備室  
〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6-1-3 TEL：0467-44-2111  
MAIL：elc-info@kamakura-u.ac.jp

# 【採用ご担当者様対象】鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置構想中）に関するアンケート調査

鎌倉女子大学短期大学部では、2025（令和7）年度に、初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置構想中）を新設する計画をしています。詳細は、特設ページ（<https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning/index.html>）及びリーフレット（<https://www.kamakura-u.ac.jp/e-learning/pdf/leaflet.pdf>）に記載のとおりです。

採用ご担当者の皆さまからのご意見をお伺いし、開設に向けての参考とさせていただくため、アンケートへのご協力をお願いいたします。なお、このアンケートで得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、貴園のプライバシーに関わる情報が公表されることはありません。アンケートの回答所要時間は3分程度です。

\* 必須

1. 貴園の種類を選択してください。\*

※「その他」を選択された方はその内容をご記入ください。

幼稚園

幼保連携型認定こども園

その他

2. 貴園が所在する都道府県を選択してください。

\*

答えの選択

3. 貴園の過去3か年の平均的な職員の採用数を選択してください。

\*

0名

1名

2名

3名

4名

5名

6名以上

4. 貴園の採用予定数を選択してください。

\*

- 昨年度より増やす
- 昨年度並み
- 昨年度より減らす
- 未定
- 採用予定なし
- 見送り（中止）

5. 貴園では、どの学校を卒業・修了した人物を採用したいとお考えですか。以下の項目のうち、該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

\*

- 短期大学
- 大学
- 大学院
- 専門学校
- その他

5. 貴園では、どの学校を卒業・修了した人物を採用したいとお考えですか。以下の項目のうち、該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

\*

- 短期大学
- 大学
- 大学院
- 専門学校
- その他

6. 貴園では、どのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。以下の項目のうち、該当するものをすべて選択してください。（複数選択可）

\*

初等教育

幼稚園教育

体育関係

美術関係

音楽関係

その他の学問分野

特になし

次へ

ページ 1/2

ここからは、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程e-learning course（仮称・設置構想中）についての以下の説明を読んでからお答えください。アンケートの必須項目は、このページで終わりです。

①設置の概要

名称：鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科通信教育課程 e-learning course（仮称・設置構想中）

修業年限：2年

入学定員：300名（男女共学）

学位：短期大学士（教育学）

開設時期：2025（令和7）年4月

②設置の理念、養成する人物像

子どもを取り巻く環境の急速な変化を受け、家庭や学校及び地域社会における子どもの健やかな成長を支援するため、豊かな人間性と確かな教育力を兼ね備えた小学校教諭及び幼稚園教諭を養成する。

③取得可能な免許・資格

小学校教諭二種免許状（※）、幼稚園教諭二種免許状（※）、准学校心理士、児童厚生二級指導員、幼児体育指導員初級、レクリエーション・インストラクター、キャンプインストラクター、秘書士

※課程認定申請予定。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

④設置場所（アクセス）

鎌倉女子大学 大船キャンパス 神奈川県鎌倉市大船6-1-3（JR・湘南モノレール「大船駅」下車、徒歩8分）

※多くの授業は通学不要で単位を取得することが可能です。

⑤学生納付金（正科生）

授業料（年間）：230,000円、教育環境充実費（年間）：35,000円

初年度入学金：30,000円

⑥近隣（神奈川県・東京都）の類似する大学・短期大学の通信教育課程

■小学校教諭免許状を取得可能な通信制大学

（神奈川県）星槎大学 共生科学部 通信教育課程 初等教育専攻（4年制）

（東京都）明星大学 教育学部教育学科 通信教育課程 小学校教員コース（4年制）

■幼稚園教諭免許状を取得可能な通信制短期大学

（神奈川県）小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 こども教育コース（2年制）こども保育コース（3年制）

（東京都）帝京短期大学 こども教育学科 通信教育課程 こども教育専攻（3年制）

※上記の内容は、あくまで予定であり、今後変更になる可能性があります。

7. 鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseには、以下のような特長があります。それぞれの特長について、貴園にとって、どの程度魅力を感じますか。(それぞれ1つだけ) \*

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全
日本の短期大学の通信教育課程で初めて小学校教諭の免許状を取得できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
最短2年間で小学校・幼稚園教諭二種免許状を取得できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
通学課程に比べて3分の1以下の学費で学べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
オンデマンドの動画授業で自分のライフスタイルに合わせて学修できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
教員採用試験対策講座等、キャリアサポートが充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
一部の対面スクーリングを鎌倉女子大学の充実した施設・設備で受講できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
子どもの教育や成長の支援について体系的に学ぶことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
専門学校に通いながら通信教育課程にも在籍して免許・資格を取得する、ダブルスクール方式で学ぶことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

8. 貴園では、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 通信教育課程 e-learning course（通信教育課程）（仮称）を卒業した学生を採用したいと思いませんか。（1つ選択）

\*

- 採用したいと思う
- 採用を検討したい
- 採用したいと思わない

9. Q8で「採用したいと思う」「採用を検討したい」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。（1つ選択）

\*

1名

2名

3～5名

6～9名

10名以上

未定

10. 最後に、鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科e-learning courseに期待することや、ご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。設置に向けた参考とさせていただきます。

回答を入力してください

送信後に回答のコピーを印刷することができます

[戻る](#)

[送信](#)

ページ 2/2